

令和4(2022)年度

学生募集要項

総合型選抜

(自己推薦型・情報技術評価型)

受験するみなさんへ

1. この募集要項には、出願手続、面接、入学手続などに関する重要事項が記載されています。入学手続が完了するまで、必ず手元に保管しておいてください。
2. 募集要項の他に、次の書類が同封されています。
 - ①総合型選抜入学願書
 - ②総合型選抜キャリア計画書
 - ③総合型選抜出願書類提出用宛名シール
 - ④総合型選抜出願書類提出用封筒
3. 新型コロナウイルス感染症の感染状況により、記載されている日程、選抜方法等に変更が生じる場合があります。変更の際は本学ホームページで随時お知らせしますので、必ず確認してください。
4. 入学試験当日は、感染症予防対策のためマスクの着用をお願いします。



大妻女子大学

大妻女子大学短期大学部

目 次

アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）／総合型選抜の選考において重視する項目等 … 1	
【共通】趣旨／総合型選抜の流れ …………… 13	
【自己推薦型】入学者選抜の基本方針／出願要件 …………… 14	
【自己推薦型】選考方法 …………… 15	
【自己推薦型】募集人員 …………… 16	
【情報技術評価型】入学者選抜の基本方針／出願要件／選考方法／募集人員 …………… 17	
【共通】入試日程 …………… 18	
【共通】出願手続 …………… 19	
【共通】コンビニエンスストアでの入学検定料の納入方法 …………… 23	
【共通】受験票の発送 …………… 25	
【共通】面接日時発表 …………… 26	
【共通】面接、小論文試験 …………… 27	
【共通】選考結果発表・合格発表 …………… 28	
入学手続………… 29	
入学手続時納入金について（参考：令和3年度入学手続時納入金） …………… 30	
家政学部食物学科・短期大学部家政科食物栄養専攻を受験する方へ………… 31	
人間関係学部人間福祉学科を受験する方へ／カリキュラム改正について／ 入学予定者への課題・プレイスメントテストについて………… 32	
災害により被災した入学志願者に対する特別措置について／履修地………… 33	
学生寮等………… 34	
高等学校等コード表………… 35	
学校教育法施行規則第150条第7号に該当する方の入学資格審査について …………… 44	
よくあるご質問／受験時の宿泊案内	
キャンパス案内（試験場）／問い合わせ先………… 裏表紙	

個人情報の取り扱いについて

提出いただいた出願書類により得られた個人情報は、出願書類に関する問い合わせ、本学の入学者選抜および合否に関する連絡、統計調査を行うために利用し、他の目的で利用することはありません。ただし、入試結果について、在籍（出身）高等学校の進学指導のための情報として通知することもあります。

なお、個人情報のデータ処理等については、外部に業務を委託することがありますが、その際は本学が責任をもって監督・管理いたします。

不測の事態が起きた場合の対応について

不測の事態が起きた場合の対応については、本学ホームページよりお知らせします。

大妻女子大学ホームページ <https://www.otsuma.ac.jp/>

問い合わせ窓口 広報・入試センター（千代田）tel. 03-5275-0404

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水疱瘡、新型コロナウイルス感染症等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により医師において伝染のおそれがないと認めた場合は、この限りではありません。

大妻女子大学

大妻女子大学は、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

1. [知識および技能] 深く幅広い知識・教養及び専門的知識・技術を修得し、考察を深めるための基礎的な学力を持っている。
2. [思考力・判断力・表現力等] 自らの人生を積極的に考え、豊かな実りある将来を築きたいという意志を持っている。
3. [主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度] (1) コミュニケーション力を磨き、主体的かつ創造的に問題の解決に取り組む意欲を持っている。
(2) 人々の幸せやより良い社会の実現に寄与したいという意欲を持っている。

家政学部

家政学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

1. [知識および技能] 大学での学問の出発点をなす、しっかりした基礎学力を持っている。
2. [思考力・判断力・表現力等] 生涯を通じて、個人と家庭の生活、社会の改善を考え、行動していきたいと思っている。
3. [主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度] (1) 人間の生活のあり方とその改善に強い関心を抱き、そのために主体的に学ぼうとする姿勢を有している。
(2) 他の人々との協力、協働、社会的連帯ができる能力を持っている。

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験（小論文を含む）、面接、書類審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

被服学科	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	被服学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
		1. 知識および技能	(1) 入学後の修学に必要な基礎学力としての知識や実技能力を有している。 (2) 高等学校で履修する、国語、英語、家庭、数学、化学、日本史、世界史、現代社会、政治経済などについて内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。
		2. 思考力・判断力・表現力等	(1) 物事を多面的かつ論理的に考察することができる。 (2) 自分の考えを的確に表現し、円滑に伝えることができる。
		3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	(1) 被服について関心があり、その専門知識を身に付けたい意欲がある。 (2) 目標の実現に向けて積極的に取り組み、最後までやり遂げる意欲がある。
	選考において重視する項目	1. 学術・文化・芸術・スポーツなどにおける活動実績（部活動、研究、創作発表、コンクール、競技など）。 2. ボランティア活動などへの自主的・継続的な参加実績。 3. 学内外の活動における指導的な役割（生徒会活動、委員会活動など）。 4. 高校での授業「家庭基礎」「家庭総合」「生活デザイン」等において学習した内容とその成果。 5. 衣服など身の回りのものに対して幅広い関心を持ち、問題意識を持って生活している。	

食物学科	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)		食物学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	食物学 専攻	アドミッション・ ポリシー (入学者の受入れ に関する方針)	1. 知識および技能	(1) 専門科目の基礎学力となる化学、生物、家庭一般に関する教科について、高等学校で学習した内容を理解している。 (2) 読解力の基礎学力となる国語、英語に関する教科について、高等学校で学習した内容を理解している。
			2. 思考力・判断力・ 表現力等	聞く・話す・読む・書くという基礎的なコミュニケーション能力を身につけている。
			3. 主体性を持って 多様な人々と協働 して学ぶ態度	(1) 食に関して好奇心が強く、自分で調べる習慣を身につけている。 (2) 行動力・体力・気力があり、社会貢献への熱意と意欲がある。
		選考において 重視する項目	1. 目的意識:食物学科の教育理念を理解し、強い目的意識をもって勉学に励む意欲を有していること。 2. 食への関心度:食と人とのかわりについて、幅広い関心、問題意識を持ち、積極的に学ぶ姿勢。 3. コミュニケーション力:自分の考えを的確に伝えることができ、他者の意見を聴く柔軟な姿勢を持っていること。 4. 理科学科の履修（特に化学基礎および生物基礎の成績を評価する）。 5. 部活動や生徒会活動など:高校時の学内外の活動においてブロック大会または全国大会出場(マネージャー含む)した経験、芸術、文化、ボランティアなどにおける活動実績。 面接時の注意 プレゼンテーションは面接試験の中で行います。5分以内で課題についてプレゼンテーションしてください。面接は椅子に座った状態で行います。前にテーブルがありますのでメモやフリップ等をおくことは可能です。配布物、メモの使用などの制限はありませんが、5分以内で分かりやすく説明できるように工夫してください。面接会場には制作物を貼り付ける場所やスライドなどを投影する機器等はありませんのでご注意ください。(27ページも参照)	
	管理栄養士 専攻	アドミッション・ ポリシー (入学者の受入れ に関する方針)	1. 知識および技能	(1) 専門科目の基礎学力となる化学、生物、家庭一般に関する教科について、高等学校で学習した内容を理解している。 (2) 読解力の基礎学力となる国語、英語に関する教科について、高等学校で学習した内容を理解している。
2. 思考力・判断力・ 表現力等			聞く・話す・読む・書くという基礎的なコミュニケーション能力を身につけている。	
3. 主体性を持って 多様な人々と協働 して学ぶ態度			(1) 食と健康に関して好奇心が強く、自分で調べる習慣が身についている。 (2) 管理栄養士としての使命や役割に強い関心を持ち、行動力・体力・気力があり、社会貢献への熱意と意欲がある。	
	選考において 重視する項目	1. 目的意識:食物学科の教育理念を理解し、強い目的意識をもって勉学に励む意欲を有していること。 2. 食への関心度:食と人とのかわりについて、幅広い関心、問題意識を持ち、積極的に学ぶ姿勢。 3. コミュニケーション力:自分の考えを的確に伝えることができ、他者の意見を聴く柔軟な姿勢を持っていること。 4. 理科学科の履修（特に化学基礎および生物基礎の成績を評価する）。 5. 部活動や生徒会活動など:高校時の学内外の活動においてブロック大会または全国大会出場(マネージャー含む)した経験、芸術、文化、ボランティアなどにおける活動実績。 面接時の注意 プレゼンテーションは面接試験の中で行います。5分以内で課題についてプレゼンテーションしてください。面接は椅子に座った状態で行います。前にテーブルがありますのでメモやフリップ等をおくことは可能です。配布物、メモの使用などの制限はありませんが、5分以内で分かりやすく説明できるように工夫してください。面接会場には制作物を貼り付ける場所やスライドなどを投影する機器等はありませんのでご注意ください。(27ページも参照)		

児童学科	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)		児童学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。
	児童学 専攻	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	<p>1. 知識および技能 高等学校段階までに習得すべき各教科等の知識・技能の評価規準が満足する状況に達している。</p> <p>2. 思考力・判断力・表現力等 (1) 子どもを巡る問題に気づき、自分なりの考えを持つことができる。 (2) 他者の考えを理解した上で自分の考えを整理し、論理的に考察し他者に伝えることができる。</p> <p>3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (1) 子どもと子どもをめぐる大人に強い関心を持ち、温かなまなざしで柔軟に他者と関わろうとする態度を有している。 (2) 自分の興味関心を大切にし、そのことを考えつづけようとする態度を有している。</p>
		選考において重視する項目	<p>児童学科の理念を理解し、子どもについて強い関心と問題意識を有していることを前提とする。</p> <p>1. 学術・文化・芸術・スポーツなどにおける活動実績（部活動、研究、創作発表、コンクール、競技など）。</p> <p>2. ボランティア活動などへの自主的・継続的な参加実績。</p> <p>3. 高等学校等での学習について（学習意欲、学習への取り組み、成果など）。</p> <p>例：高校での授業「総合的な学習（探究）の時間」等において取り組んだ課題研究等とその成果 上記1～3のいずれかの項目および子どもと関わる活動の体験。</p>
		アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	<p>1. 知識および技能 高等学校段階までに習得すべき各教科等の知識・技能の評価規準が満足する状況に達している。</p> <p>2. 思考力・判断力・表現力等 習得している知識・技能を働かせて、子どもを巡る問題を見出し、解決の方策を工夫しながら自分なりの考えをもち、それを他者に分かりやすく表現することができる。</p> <p>3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 子どもと子どもをめぐる大人に強い関心をもち、温かなまなざしで他者と関わろうとする態度を有し、かつ子どもが自然事象に関わることに向き合おうとする姿勢をもっている。</p>
	選考において重視する項目	<p>児童学科の理念を理解し、子どもについて強い関心と問題意識を有していることを前提とする。</p> <p>1. 学術・文化・芸術・スポーツなどにおける活動実績（部活動、研究、創作発表、コンクール、競技など）。</p> <p>2. ボランティア活動などへの自主的・継続的な参加実績。</p> <p>3. 高等学校等での学習について（学習意欲、学習への取り組み、成果など）。</p> <p>例：高校での授業「総合的な学習（探求）の時間」等において取り組んだ課題研究等とその成果 上記1～3のいずれかの項目および子どもと関わる活動の体験。</p>	
	ライフデザイン 学科	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	<p>ライフデザイン学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。</p> <p>1. 知識および技能 (1) 高等学校の教育課程を幅広く修得し、特に「国語総合（現代文）」と「英語」の基礎学力をしっかりと身に付けている。 (2) 高等学校までの学習や諸活動を通じて、聞く・話す・読む・書くというコミュニケーションの基礎的な能力を身に付けている。</p> <p>2. 思考力・判断力・表現力等 生活に関わる様々な出来事や現象について、人の意見に流されず、自分で考え、自分なりの意見を持つことができ、それを表現できる。</p> <p>3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (1) 本当に豊かな生活とは何かについて考え、実践する意欲を持っている。 (2) 家族関係や地域の人間関係に関心があり、人と人との温かな交流を促進する意欲を持っている。 (3) 生活の中の美に興味があり、美しい暮らしを提言する意欲を持っている。 (4) 人間生活と自然環境の調和に興味があり、自ら実践し社会に提言する意欲を持っている。</p>
選考において重視する項目		<p>1. 広く社会に対する関心をもち、高等学校等での学習に意欲的に取り組んでいること。</p> <p>2. ライフデザインという学科の理念を理解し、強い目的意識をもって勉学に励む意欲を有していること。</p> <p>3. 以下の項目のうち、1つ以上について自己アピールができること。</p> <p>① 学業と両立させた上での学術・文化・芸術・スポーツなどの活動（部活動、稽古事、市民サークル、研究、創作発表、コンクール、競技など）における努力、協働、達成の経験と実績。</p> <p>② ボランティア活動など、自主的な活動への継続的な参加実績。</p> <p>③ 学内外の活動における指導的な役割経験や実績（生徒会活動など）。</p>	

文学部

文学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

1. [知識および技能] 人間と言葉について、基礎的かつ本質的な知識と技能を有している人。
2. [思考力・判断力・表現力等] (1) 人間と言葉に関する事象を考察し、自らの判断を下すことができる人。
(2) 自分の知識や意見を表現し、他者と情報を交換することができる人。
3. [主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度] 人間と言葉に関する未開拓の領域を、主体的に究明しようとする人。

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験（小論文を含む）、面接、書類審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

日本文学科	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	<p>日本文学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。</p> <p>1. 知識および技能 (1) 日本文学や日本語の歴史を理解し、日本社会や日本語の持つ個性と多様性を知ることにより、現代に生きる私たちに必要な知識の習得に努めるとともに、日本語運用能力やプレゼンテーション能力の進展を図ろうとする意欲を持つ人。 (2) 入学までに、「古典A」「古典B」「現代文A」「現代文B」などの科目を履修し、日本文学史の大きな流れと日本語の特質などについて理解しようとしている人。</p> <p>2. 思考力・判断力・表現力等 自分とは異なる立場や意見の人々に対する知的寛容さや柔軟性を兼ね備えた判断力と思考力を持ち、それらを基盤として他者に向かって発信できる表現力・コミュニケーション能力を高める意欲を持つ人。</p> <p>3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 日本文学や日本語の普遍性を理解し、豊かな情操を育成しながら、みずからの心の支えを主体的に得ることで、自立した女性として将来への大きな力を養おうとする目的意識を持つ人。</p>
	選考において重視する項目	<p>1. 学術・文化・芸術・スポーツなどにおける活動実績（部活動、研究、創作発表、コンクール、競技など）。</p> <p>2. ボランティア活動などへの自主的・継続的な参加実績。</p> <p>3. 学内外の活動における指導的な役割（生徒会活動、委員会活動など）。</p> <p>4. 次の資格・検定試験や水準を得ていること。 日本漢字能力検定準1級以上（日本漢字能力検定協会）</p> <p>5. 高等学校等での学習について（学習意欲、学習への取り組み、成果など）。特に「国語」に対する強い関心と努力を評価する。</p> <p>面接時の注意</p> <p>面接時に実演（パフォーマンス）や作品等の持ち込みをすることについては、相談に応じます。オープンキャンパスの教員による個別相談のコーナーに申し出てください。（27ページも参照）</p>
英語英文学科	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	<p>英語英文学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。</p> <p>1. 知識および技能 英語の4技能（Speaking, Listening, Reading, Writing）全般の基礎的な力をそなえ、人間と言葉について、基礎的かつ本質的な知識と技能を有している人。</p> <p>2. 思考力・判断力・表現力等 (1) 高校までの英語学習を通して、人間・言葉・社会に関する事象に問題意識を持ち、筋道を立てて考え、それを説明することができる人。 (2) 他者の意見を理解し、自身の知識や意見を的確に表現することで、他者と情報を交換することができる人。</p> <p>3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 英語圏の文学・英語学・英語教育学・英米文化のいずれかの領域に関心があり、人間・言葉・社会に関する問題を、主体的に究明しようとする人。</p>
	選考において重視する項目	<p>英語英文学科の特性への十分な理解を前提にして、次の項目のうち、1つ以上。</p> <p>1. 高等学校等での英語学習に対する強い関心と努力の足跡（学習意欲、学習への取り組み、成果など）。</p> <p>2. 学術・文化・芸術・スポーツなどにおける活動実績（部活動、研究、創作発表、コンクール、競技など）。</p> <p>3. ボランティア活動などへの自主的・継続的な参加実績。</p> <p>4. 学内外の活動における指導的な役割（生徒会活動、委員会活動など）。</p> <p>5. 次のいずれかの資格・検定試験の取得ならびに正式な評価。 実用英語技能検定試験（英検）2級以上（CBT, 1day S-CBT, S-CBT 含む） / TEAP 225点以上 / TOEFL iBT® 42点以上 / TOEIC® 1150点以上 *1 / TOEIC® S&W 240点以上（IPも可） / TOEIC® L&R 550点以上（IPも可） / IELTS 4.0以上 / GTEC CBT タイプ 960点以上。 *1) TOEIC® S&W のスコアを2.5倍にして TOEIC® L&R のスコアと合算した合計点</p> <p>6. 海外語学留学・研修への積極的な参加。</p> <p>出願時の注意</p> <p>「選考において重視する項目」または「活動報告」に関する資料がある場合、提出可能な資料は全て添付してください。また、「選考において重視する項目」の5.で指定しているいずれかの資格・検定試験のスコアを有する場合は、「各学科・専攻からの課題」への取り組みを免除します。（21ページも参照）</p>

コミュニケーション 文化学科	アドミッション・ ポリシー (入学者の受入れ に関する方針)	<p>コミュニケーション文化学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。</p> <p>1. 知識および技能 (1) 入学後異文化やメディア等について深く学修するために必要となる高等学校卒業相当の基礎的な知識と技能を修得している人。 (2) 高等学校までの履修内容のうち、日本語及び英語の基礎的能力（聞く、話す、読む、書く）を正確かつ十分に修得し、コミュニケーションに役立てることができる人。</p> <p>2. 思考力・判断力・表現力等 日常的に新聞、放送メディア、インターネットなどのメディアに接し、国内外の社会の動きに関する知識や情報を積極的に集め、課題を発見した上で、自分の考えを的確に表現できる人。</p> <p>3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (1) 日本や世界に対する幅広い知的好奇心を持ち、他者と協同して主体的に学ぶことができる人。 (2) 大学を卒業後、修得した知識・技能や能力を積極的に社会で役立てたいという意志を持っている人。</p>
	選考において 重視する項目	<p>コミュニケーション文化学科の特性への十分な理解を前提にして、次の項目のうち、1つ以上。</p> <p>1. 学術・文化・芸術・スポーツ・海外留学経験などにおける活動実績（部活動、創作発表、コンクール、競技など）。</p> <p>2. ボランティア活動などへの自主的・継続的な参加実績。</p> <p>3. 学内外の活動における指導的な役割（生徒会活動、委員会活動など）。</p> <p>4. 高等学校等での学習。特に英語などの語学および国語、現代社会への強い関心と努力を評価する。</p> <p>5. 次のいずれかの資格・検定試験の取得ならびに正式な評価。 日本漢字能力検定準1級以上（日本漢字能力検定協会）／実用英語技能検定試験（英検）2級以上（CBT, 1day S-CBT, S-CBT 含む）／TEAP 225点以上／TOEFL iBT® 42点以上／TOEIC® 1150点以上 *1 / TOEIC® S & W 240点以上（IPも可）／TOEIC® L & R 550点以上（IPも可）／IELTS 4.0以上／GTEC CBT タイプ 960点以上／実用フランス語技能検定5級以上（フランス語教育振興協会）／中国語検定4級以上（日本中国語検定協会）／漢語水平考試（HSK）2級以上／ドイツ語技能検定5級以上（ドイツ語学文学振興会）／ハングル能力検定4級以上（ハングル能力検定協会）／韓国語能力試験（TOPIK）2級以上（韓国教育省） *1) TOEIC® S & W のスコアを2.5倍にして TOEIC® L & R のスコアと合算した合計点</p> <p>出願時の注意</p> <p>「選考において重視する項目」または「活動報告」に関する資料がある場合、提出可能な資料は全て添付してください。（21ページも参照）</p>

社会情報学部

社会情報学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

- [知識および技能] (1) 大学での修学に必要な、基礎的な学力を有し、社会、環境、情報を理解するための知識及び技能を獲得したい人。
(2) 自らの考えを他者に的確に伝える技能と表現力を有する人。
 - [思考力・判断力・表現力等] 基礎的な学力をベースに、主体的かつ創造的に、社会、環境、情報の各課題を論理的に分析し解決することのできる人。
 - [主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度] 社会、環境、情報に興味・関心があり、自ら進んで意欲的に学び、卒業後、社会に積極的に貢献したい人。
- 以上のような入学者を選抜するために、筆記試験（小論文を含む）、面接、書類審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

社会情報学科 社会生活情報学専攻	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	<p>社会生活情報学専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。</p> <p>1. 知識および技能 (1) 社会の動きや生活のあり方を理解するための広く深い知識を有し、文章の読解や発表のための思考力、そして討論のためのコミュニケーション力を獲得したい人。 (2) 高校での社会科・国語科の科目への関心（履修）に留まらず、日頃から社会問題や情報、文章表現等への高い関心を持ち、積極的に読書や情報収集を行なっている人。</p> <p>2. 思考力・判断力・表現力等 社会科学やメディアの活用法を学び、社会問題に対する思考と判断力を養い、その帰結としての問題解決への方策を表現する力を獲得したい人。</p> <p>3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 社会において幅広く活躍するために、大学での学びから得た知見と情報リテラシーを基に、社会の諸事象への関心と分析力、コミュニケーション力を高めることに意欲的な人。</p>
	選考において重視する項目	<p>1. 関心のあるテーマについて自主的な学習・研究を行い成果をあげたこと。</p> <p>2. 高等学校等での学習（学習意欲、学習への取り組み、成果など）、特に「地理歴史」「公民」に対する強い関心があり努力をしたこと。</p> <p>3. 学内外の活動（生徒会活動、委員会活動など）において指導的な役割を果たしたこと。</p> <p>4. ボランティア活動などに自主的・継続的に参加した実績があること。</p> <p>5. 次のいずれかの資格・検定試験の取得。 実用英語技能検定試験（英検）準2級以上（CBT, 1day S-CBT, S-CBT 含む）／GTEC（4技能版）690点以上／GTEC CBT タイプ 690点以上。</p> <p>面接時の注意 作品等の持ち込みに限り許可します（実演は不可）。（27ページも参照）</p>
社会情報学科 環境情報学専攻	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	<p>環境情報学専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。</p> <p>1. 知識および技能 (1) 入学後の修学に必要な基礎的な知識を有し、環境を理解するための情報収集能力、文章の読解や発表のための思考力、そして討論のためのコミュニケーション力を身につけたい人。 (2) 高校での環境に関わる科目（社会科・理科など）の履修に留まらず、日頃から環境への高い関心を持ち、積極的に情報収集を行い、自らの考えを他者に伝える技術と表現力を高めることを心がけている人。</p> <p>2. 思考力・判断力・表現力等 自然科学や社会科学の視点から環境について複合的に学び、環境問題に対する思考と判断力を養い、問題解決への方策を論理的に表現して、エコライフを実践したいと考えている人。</p> <p>3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 エコライフを実践するために、社会や自然のしくみを学んで得た知見と環境情報リテラシーを基に、将来、暮らしを中心とする身近な環境を意欲的にデザインしたい人。</p>
	選考において重視する項目	<p>1. 学術・文化・芸術・スポーツなどにおける活動実績（部活動、研究、創作発表、コンクール、競技など）。</p> <p>2. ボランティア活動などへの自主的・継続的な参加実績。</p> <p>3. 学内外の活動における指導的な役割（生徒会活動、委員会活動など）。</p> <p>4. 環境問題に対する強い関心と、それらを学ぶのに相応しい資質。</p> <p>5. 次のいずれかの資格・検定試験の取得。 実用英語技能検定試験（英検）準2級以上（CBT, 1day S-CBT, S-CBT 含む）／GTEC（4技能版）690点以上／GTEC CBT タイプ 690点以上。</p>

社会情報学科 情報デザイン専攻	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	<p>情報デザイン専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。</p> <p>1. 知識および技能 高等学校で履修する「数学」「理科」「国語」「英語」「地理歴史」「公民」の複数の科目あるいはそれらと同等レベルの学修内容について幅広く理解し、基礎的な学力を身につけている人。</p> <p>2. 思考力・判断力・表現力等 (1) 論理的な思考を深めて総合的に判断できると共に、自ら課題を見だし、情報を的確に読み取りながら、自らの考えに基づいて行動できる人。 (2) 自らの考えを効果的に伝える技能と表現力を有する人。</p> <p>3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 情報とデザイン及び情報とシステムに興味・関心があって自ら進んで学習する意欲を備えると共に、ボランティアや各種コンテストなど様々な活動に自主的かつ継続的に参加した実績を持つ人。</p>
	選考において重視する項目	<p>1. 学術・文化・芸術・スポーツなどにおける顕著な活動実績（部活動、研究、創作発表、コンクール、競技会など）。</p> <p>2. 高等学校等での学習、特に「情報」「数学」に対して努力し得られた実績（成績、賞、作品等）。</p> <p>3. 次のいずれかの資格・検定試験の取得。 ITパスポート、基本情報技術者、情報検定（J検）の情報システム試験（1科目以上）、情報活用試験（3級以上）、情報デザイン試験（初級以上）などの資格・検定試験。このほか各種協会が実施するこれらに準ずる情報処理や情報デザインに関する資格・検定試験。</p> <p>4. 学内外の活動における指導的な役割（生徒会活動、委員会活動など）。</p> <p>5. ボランティア活動などへの継続的な参加実績。</p> <p>6. 次のいずれかの資格・検定試験の取得。 実用英語技能検定試験（英検）準2級以上（CBT, 1day S-CBT, S-CBT 含む）／GTEC（4技能版）690点以上／GTEC CBT タイプ 690点以上。</p> <p>出願時・面接時の注意</p> <p>面接時に課題についてプレゼンテーションをして頂きます。制限時間は5分です。配布物、メモの使用などの制限はありませんが、時間内でわかりやすく説明できるように工夫してください。面接会場に制作物を貼り付ける場所やスライドを投影する機器はありませんのでご注意ください。 また、出願者の高い情報処理能力を示す作品があれば（例：過去に作成したプログラム、ゲーム、ウェブページ、CGなど）、デジタルファイルとして記憶媒体（DVD-R、CD-R、USBフラッシュメモリなど）に保存して出願書類に添付して提出することができます。面接時にPCを持参して作品を見せることも可能です。（21・27ページも参照）</p>

人間関係学部

人間関係学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

1. [知識および技能] 大学での学びに必要な、高等学校卒業相当の基礎学力を身につけている人。
2. [思考力・判断力・表現力等] 問題を多角的にとらえ、創造的・論理的に考えることができ、他人の意見を聞き理解し、自分の意見を表明することができる人。
3. [主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度] (1) 人間や社会に対して幅広く深い興味を持ち、積極的に問題解決を図ろうとする人。
(2) 学内・学外での学びや活動に意欲と関心を持ち、意見や関心が異なる人たちとも協力しながらやり遂げることができる人。

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験（小論文を含む）、面接、書類審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

人間関係学科 社会学専攻	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	<p>社会学専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。</p> <p>1. 知識および技能</p> <p>(1) 高等学校卒業までに十分な基礎学力を身につけていて、特に大学の授業で必要となる、文章の解読、発表や討論、レポート作成のための日本語能力の基礎となる「国語」の学力がある人。 (2) 高等学校卒業までに十分な基礎学力を身につけていて、特に社会学を学ぶ上で必要となる基礎的な教科の「地理歴史」「公民」の学力がある人。 (3) 高等学校卒業までに十分な基礎学力を身につけていて、特に社会現象をグローバルな観点から関連付け分析するために必要な「外国語」の学力がある人。</p> <p>2. 思考力・判断力・表現力等</p> <p>課題を多角的にとらえ、創造的に考える意志を持っている人。</p> <p>3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度</p> <p>(1) 人間や社会に対して幅広い興味を持ち、積極的に問題解決を図ろうとする人。 (2) 大学で学ぶことに意欲を持っていて、意見や関心が異なる人たちとも柔軟に協力していける人。</p>
	選考において重視する項目	<p>1. 学術・文化・芸術・スポーツなどにおける活動実績（部活動、研究、創作発表、コンクール、競技など）。</p> <p>2. ボランティア活動などへの自主的・継続的な参加実績。</p> <p>3. 学内外の活動における指導的な役割（生徒会活動、委員会活動など）。</p> <p>4. 本専攻の教育理念、および、学習内容の理解のため、今年度のオープンキャンパスの「教員による個別相談」コーナーで、教員から説明を受けていることが望ましい。→注意事項参照</p> <p>5. 次のいずれかの資格・検定試験の取得。 実用英語技能検定試験（英検）2級以上（CBT, 1day S-CBT, S-CBT 含む）／ TEAP 225 点以上／ TOEFL iBT® 42 点以上／ TOEIC® 1150 点以上（L&R 550 点以上、かつ S&W 240 点以上 [IP も可]） *1 / IELTS 4.0 以上 / GTEC CBT タイプ 960 点以上。 *1) TOEIC® S & W のスコアを 2.5 倍にして TOEIC® L & R のスコアと合算した合計点</p> <p>注意事項 オープンキャンパスで教員の説明を受けることができない場合は、個別に相談に応じますので、多摩校教育・学事支援グループ（tel. 042-372-9970）までご連絡ください。</p>

人間関係学科 社会・臨床心理学 専攻	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	<p>社会・臨床心理学専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。</p> <p>1. 知識および技能</p> <p>(1) 心理学の専門的知識と技能を学ぶために必要となる、高等学校卒業相当の知識と基礎学力を幅広く身に付けている人。</p> <p>(2) 高校までの履修内容のうち、文章読解、文章（レポート）作成、プレゼンテーション、ディスカッションの基礎となる日本語能力と外国語の基礎力を身に付けている人。</p> <p>2. 思考力・判断力・表現力等</p> <p>(1) 社会の様々な問題について、数学（特に統計に関する知識および技能）を用いて科学的に分析・解明していく判断力や論理的思考力を身に付けている人。</p> <p>(2) グループ学習や課外活動、ボランティア活動の経験があり、集団や組織の中で自分の意見を的確に表現する力と、異なった考え方の人とも協力しながら課題をやり遂げることのできる人。</p> <p>3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度</p> <p>人間や社会に対して広く深い興味関心を持ち、人間関係性と心理学の専門的知識・技能を生かして社会に貢献したいという意欲を持っている人。</p>
	選考において重視する項目	<p>1. 本専攻の教育理念、および学習内容をよく理解していること。そのために、今年度のオープンキャンパスの「教員による個別相談」コーナーで、教員からの説明を受けていることが望ましい。→注意事項参照</p> <p>2. 心理学に対する強い関心と学ぶ意欲を持っていること。</p> <p>3. 他者の意見・質問を的確に理解し、自分の考えを論理的に伝えられること。</p> <p>4. グループ学習で求められる基本的な協調性や責任感を持っていること。</p> <p>5. 学術・文化・芸術・スポーツ・ボランティアなどにおける活動実績（部活動、研究、創作発表、コンクール、競技など）。</p> <p>6. 次のいずれかの資格・検定試験およびそれに相当する他の英語能力資格の取得。 実用英語技能検定試験（英検）2級以上（CBT, 1day S-CBT, S-CBT 含む）／TEAP 225 点以上／TOEFL iBT® 42 点以上／TOEIC® 1150 点以上（L&R 550 点以上、かつ S&W 240 点以上 [IP 可]） *1 / IELTS 4.0 以上 / GTEC CBT タイプ 960 点以上。 *1) TOEIC® S & W のスコアを 2.5 倍にして TOEIC® L & R のスコアと合算した合計点</p> <p>注意事項 オープンキャンパスで教員の説明を受けることができない場合は、個別に相談に応じますので、多摩校教育・学事支援グループ（tel. 042-372-9970）までご連絡ください。</p>
人間福祉学科	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	<p>人間福祉学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。</p> <p>1. 知識および技能</p> <p>(1) 大学の授業に必要な、高等学校卒業相当の「国語」、「英語」の学力がある人。</p> <p>(2) 社会福祉を学ぶ上で、高等学校卒業相当の「地理歴史」又は「公民」の学力がある人。</p> <p>2. 思考力・判断力・表現力等</p> <p>文章での表現力、読解力及び記述力を持ち、他人の意見を聞き理解し自分の意見を表明することができる人。</p> <p>3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度</p> <p>(1) 身近に発生している福祉に関する問題について深い関心を持ち、その解決に向けて取り組む意欲を持つ人。</p> <p>(2) 学校での学習や課外活動等において、他の人と協力しながら主体的に参加し、課題をやり遂げることができる人。</p>
	選考において重視する項目	<p>1. 学術・文化・芸術・スポーツなどにおける活動実績（部活動、研究、創作発表、コンクール、競技など）。</p> <p>2. ボランティア活動などへの自主的・継続的な参加実績。</p> <p>3. 学内外の活動における指導的な役割（生徒会活動、委員会活動など）。</p> <p>4. 次のいずれかの資格・検定試験の取得。 実用英語技能検定試験（英検）準2級以上（CBT, 1day S-CBT, S-CBT 含む）／GTEC（4技能版）690 点以上／GTEC CBT タイプ 690 点以上。</p> <p>5. 本学科の教育理念、および、学習内容の理解のため、今年度のオープンキャンパスの「教員による個別相談」コーナーで、教員から説明を受けていることが望ましい。→注意事項参照</p> <p>注意事項 オープンキャンパスで教員の説明を受けることができない場合は、個別に相談に応じますので、多摩校教育・学事支援グループ（tel. 042-372-9970）までご連絡ください。</p>

比較文化学部

比較文化学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

比較文化学科	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	1. 知識および技能 2. 思考力・判断力・表現力等 3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	(1) 外国語と外国の歴史や文化についての知識（具体的には「国語」「英語」を基本に外国文化と日本文化を比較するための基準となる「世界史」「日本史」の知識）を持っている。 (2) 基本的な語学力と論の構成力を持っている。 物事を自分で考え、自分の言葉で表現する姿勢がある。 意欲的に多様な人々と協働して学ぶ態度がある。
	選考において重視する項目	比較文化学科の特性への理解を前提にして、以下にあげる項目のうち1つ以上の実績もしくは証明。 1. 学術・文化・芸術・スポーツなどにおける活動実績（部活動、研究、創作発表、コンクール、競技、長期留学など）。 2. ボランティア活動などへの自主的・継続的な参加実績。 3. 学内外の活動における指導的な役割の実績（生徒会活動、委員会活動など）。 4. 次のいずれかの資格・検定試験や水準を目安とする語学力の証明。 実用英語技能検定試験（英検）2級以上（CBT, 1day S-CBT, S-CBT 含む）／TEAP 225 点以上／TOEFL iBT [®] 42 点以上／TOEIC [®] 1150 点以上（L&R 550 点以上、かつ S&W 240 点以上 [IP も可]）*1／IELTS 4.0 以上／GTEC CBT タイプ 960 点以上／実用フランス語技能検定 5 級以上（フランス語教育振興協会）／中国語検定 4 級以上（日本中国語検定協会）／漢語水平考査（HSK）2 級以上／ドイツ語技能検定 5 級以上（ドイツ語学文学振興会）。 *1) TOEIC [®] S&W のスコアを 2.5 倍にして TOEIC [®] L&R のスコアと合算した合計点	

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験（小論文を含む）、面接、書類審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

大妻女子大学短期大学部

大妻女子大学短期大学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

1. [知識および技能] (1) 高校の学習で「国語」「英語」「数学」「地理・歴史」「理科」「家庭」など各学科が指定した科目において基礎学力および技能を身につけている。
(2) 短期大学部の授業が理解できる一定以上の知識があり、入学後の修学に必要な技能を有している。
2. [思考力・判断力・表現力等] 常に問題意識を持って、自らテーマを見つけ物事を論理的に考える力、自分の考えを的確に相手に伝えることができる能力をそなえている。
3. [主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度] 多様な人々とコミュニケーションを図って、自立した将来を創り上げていく意欲を持ち、そのための課題に積極的に取り組むことができる。

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験（小論文を含む）、面接、書類審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

家政科	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)		家政科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	家政専攻	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	1. 知識および技能	高校での学習で「国語」「英語」「数学」「地理・歴史」「理科」「家庭」など、入学後の修学に必要な、基礎知識と技能を有し、さらに、資格取得や課外活動など、高校時代に充実した日常生活を送ることができた人。
		2. 思考力・判断力・表現力等	物事を多面的・論理的に、考察と判断ができ、自分の考えを、他者に的確に表現し、伝えることのできるコミュニケーション能力を持ち、さらに、他者の考えを、柔軟に受け入れ、理解する、協調性を有している人。	
	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	生活の基盤である衣、食、住、保育、健康などの学習の他、家政専攻での学習に深い関心があり、主体的・積極的に取り組む態度を有し、得られた知識と資格などの専門性を、将来の生活や就職、社会貢献に役立てる意欲のある人。		
	選考において重視する項目	1. 学術・文化・芸術・スポーツなどにおける活動実績（部活動、研究、創作発表、コンクール、競技など）。 2. 学内外の活動における指導的な役割（生徒会活動、委員会活動など）。 3. 高等学校での学習について（学習意欲、学習への取り組み、成果など）。 例：高校での授業「総合的な学習（探究）の時間」等において取り組んだ課題研究等とその成果 4. ボランティア活動などへの自主的・継続的な参加実績。 5. 資格・検定試験の取得実績（食物調理技術検定／被服製作技術検定／実用英語技能検定（英検）（CBT, 1day S-CBT, S-CBT 含む）または他の英語能力資格／日本漢字能力検定／全商ビジネス文書実務検定など）。		
	生活総合ビジネス専攻	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	1. 知識および技能	(1) 文章の読解・レポート作成などの「国語」の能力、基礎的な「数学」の能力、「英語」の基本能力がある。 (2) ビジネスを学ぶ上で必要とされる社会の出来事や仕組みに関する興味と一般的な知識がある。
		2. 思考力・判断力・表現力等	(1) 物事を多面的かつ論理的に考えることができる。 (2) 自分の考えを的確に表現し、伝えることができる。	
		3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	(1) ビジネスの世界で自分の能力を発揮することに強い関心があり、積極的に考えて行動できる、また生活人そして企業人として自立した将来を真剣に考えることができる。 (2) 主体性を持って他者とのコミュニケーションを図り、共働して学ぶ態度を有する。	
	選考において重視する項目	1. 学術・文化・芸術・スポーツなどにおける活動実績（部活動、研究、創作発表、コンクール、競技など）。 2. 学内外の活動における指導的な役割（生徒会活動、委員会活動など）。 3. 高等学校での学習について（学習意欲、学習への取り組み、成果など）。 例：高校での授業「総合的な学習（探究）の時間」等において取り組んだ課題研究等とその成果 4. ボランティア活動などへの自主的・継続的な参加実績。		
	食物栄養専攻	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	1. 知識および技能	(1) 専門科目を学ぶために必要な「化学」、「生物」、「家庭」の基礎的な内容を理解している。 (2) 読解力や語学力の基礎となる「国語」を通して、聞く、話す、読む、書くという基礎的なコミュニケーション能力を身につけている。また、実務的な計算能力がある。
2. 思考力・判断力・表現力等		健康や食生活に関する問題について、知識や情報を基に論理的に考察し、判断したり、行動したりすることができる。		
3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度		健康・食生活に対する強い関心を持ち、将来、食を通して人々の健康に貢献したいという意欲がある。学修課題に積極的に取り組み、主体的に学ぶことができる。		
選考において重視する項目	1. 食物栄養専攻の教育理念を理解し、強い目的意識をもって勉学に励む意欲。 2. 健康や食生活について、幅広い関心や問題意識をもち、積極的に学ぶ姿勢。 3. 高等学校での学習について（特に化学基礎および生物基礎に対する学習意欲や学習への取り組み、成果など）。 4. 学内外の活動における指導的な役割（生徒会活動、委員会など）。			

国文科	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	<p>国文科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。</p> <p>1. 知識および技能 日本語、日本文学・文化に関して、高等学校卒業時点で身に付けていると考えられる基本的な知識がある人。</p> <p>2. 思考力・判断力・表現力等 現在までの学校生活と、短大国文科での2年間との関係から、卒業後の自分の将来像をイメージしようと努め、自分を一歩でも向上させる方法を考えている人。</p> <p>3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (1) 日本語、日本文学・文化を通して、日本や世界の社会について積極的に知ろうとしている人。 (2) 自分の考えを会話や文章で的確に表現しようとする、強い意欲がある人。</p>
	選考において重視する項目	<p>1. 高等学校等での学習（学習意欲、学習への取り組み、成果など）。特に、「国語」学習に対する強い関心と努力。</p> <p>2. 学術・文化・芸術・スポーツなどにおける活動実績（部活動、研究、創作発表、コンクール、競技、国語以外の各種検定など）。</p> <p>3. ボランティア活動などへの自主的・継続的な参加実績。</p> <p>4. 学内外の活動における指導的な役割（生徒会活動、委員会活動など）。</p>
英文科	アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)	<p>英文科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。</p> <p>1. 知識および技能 (1) 英米を中心とした世界の文化・歴史に関して、基本的な知識をそなえた人。 (2) 英文科の授業が理解できる一定以上の英語の能力、特にリーディングの力を持った人。</p> <p>2. 思考力・判断力・表現力等 常に問題意識を持って、自ら見つけたテーマを論理的に考え、「自分の言葉」でまとめることができる人。</p> <p>3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (1) 多様な人々の意見に耳を傾けると同時に、自分の意見も積極的に伝えることによって、自分を高めていきたいという意欲を持った人。 (2) ことばを深く理解することによって、人のことを大切に、主体的に人生を歩んでいける人。</p>
	選考において重視する項目	<p>英文科の特性への十分な理解を前提にして、次の項目のうち、1つ以上。</p> <p>1. 高等学校等での学習について（学習意欲、学習への取り組み、成果など）。特に、簡単な自己紹介を英語で行うことなど「英語」に対する強い関心と努力。</p> <p>2. 学術・文化・芸術・スポーツなどにおける、現在までに至る継続的な活動実績（部活動、研究、創作発表、コンクール、競技など）。</p> <p>3. ボランティア活動・生徒会活動・委員会活動などへの顕著な参加実績。</p> <p>4. 次のいずれかの資格・検定試験およびそれに相当する他の英語能力資格の取得。 実用英語技能検定試験（英検）準2級以上（CBT, 1day S-CBT, S-CBT含む）／GTEC（4技能版）690点以上／GTEC CBTタイプ690点以上／TOEIC® 625点以上（IPも可）*1。</p> <p>5. 海外語学留学・研修への積極的な参加。 *1) TOEIC® S&W のスコアを2.5倍にして TOEIC® L&R のスコアと合算した合計点</p> <p>出願時の注意 「選考において重視する項目」の4.で指定しているいずれかの資格・検定試験のスコアを有する場合は、「各学科・専攻からの課題」への取り組みを免除します。（21ページも参照）</p>

TOEIC, TOEIC Bridge, TOEFL, TOEFL iBT and TOEFL ITP are registered trademarks of Educational Testing Service (ETS).

This publication is not endorsed or approved by ETS.

ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）は本学ホームページ（<https://www.otsuma.ac.jp/>）をご参照ください。

【共通】

趣旨

総合型選抜（自己推薦型・情報技術評価型）は、能力・特技・資格や個性・学習意欲などを中心とした総合的・多面的な人物評価を慎重に行い、本学創立の精神、理想、学風にふさわしい学生を選抜しようとするところにあります。

本学への入学を第一希望とし、本学の教育方針・教育内容を十分に理解するとともに、勉強意欲が高く、入学後の学生生活の夢や将来の目標が明確であり、そのことを自分自身で説得的に表明できる者に入学の機会を提供することを目的とします。

こうして、一般選抜や学校推薦型選抜では判断し得ないさまざまな資質や能力や活動を、総合的に判断し、思考力、構想力、創造力にあふれた情熱と意欲ある人材を積極的に迎えようとするものであります。

総合型選抜の流れ

① 大妻を知る

オープンキャンパスなどに参加し、志望学科・専攻への理解を深めてください。

② 総合型選抜学生募集要項・出願書類を入手し、出願書類を作成する

第一志望の学科・専攻が決まったら、出願書類を作成しましょう。

③ 出願手続（19 ページ）

出願書類を揃え、郵送で提出してください。

④ 受験票を受け取る（25 ページ）

志願者宛に受験票が届きます。受験学科・専攻など記載事項を確認してください。

⑤ 面接日時発表（26 ページ）

Web で面接日時等を確認してください。

⑥ 面接、小論文試験（27 ページ）

複数の面接担当者と約 30 分間（情報技術評価型は約 15 分間）の個人面接を行います。家政学部食物学科は、面接に加え小論文試験を行います。

【自己推薦型Ⅰ期・情報技術評価型】

⑦ 第一次選考結果発表→

「入学までの学習計画書」の提出(28ページ)

Web で選考結果を確認してください。

「適格」と判定された方には第二次選考の「入学までの学習計画書」が郵送されます。

期日までに「入学までの学習計画書」を作成し、郵送で提出してください。

⑧ 合格発表→入学手続（28 ページ）

Web で合否を確認してください。

合格者には合格通知と入学手続書類が届きます。

入学手続時納入金を納入し、入学手続書類を郵送で提出してください。

【自己推薦型Ⅱ期】

⑦ 合格発表→入学手続（28 ページ）

Web で合否を確認してください。

合格者には合格通知と入学手続書類が届きます。

入学手続時納入金を納入し、入学手続書類を郵送で提出してください。

【自己推薦型】

入学者選抜の基本方針

提出された書類に基づく詳細な審査および小論文試験や時間をかけた面接等により、志願者の能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を総合的に評価する。

出願要件

以下の各要件を満たしている女子

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校等を令和4年3月卒業見込みの者または卒業後5年以内（平成28年9月以降の卒業）の者
- (2) 本学の教育目的や理念を具現するにふさわしい旺盛な学習意欲と問題意識を有し、かつ創造性・行動力などの能力と資質を有する者で、本学を第一志望として入学を志す者
- (3) 本学の学修・教育環境を積極的に活用し、志望理由としてあげた自己の目標や構想を実現するに十分な意欲と能力を有する者
- (4) 短期大学部家政科食物栄養専攻を志望する者は、「化学基礎」および「生物基礎」を履修している者
ただし、高等学校および中等教育学校卒業（見込み）者以外の者については、上記と同程度の学力を有する者

※出願要件(1)については以下の者も含まれます。

- ・通常の課程による12年の学校教育を令和4年3月修了見込みの者および修了後5年以内の者
- ・学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和4年3月31日までにこれに該当する見込み者で令和4年3月31日までに18歳以上かつ23歳以下の者

※出願要件(4)について

高等学校および中等教育学校卒業（見込み）者以外の方は、個別に確認を行います。原則として7月9日（金）までに広報・入試センター（千代田）に連絡してください。

本学では、「高等学校を卒業した者と同等以上の学力がある者」として入学資格認定を必要とする方について、個別の入学資格審査を行います。学校教育法施行規則第150条第7号の規定による個別の入学資格審査を希望する方は、次の申請期間前に広報・入試センター（千代田）に必ず連絡してください。

この手続が必要な方は、出身学校の高等学校等コードが「54000F」の方です。このコード以外の方はこの手続は必要ありません。

詳細は44ページで確認してください。

【申請期間（郵送必着）】

I期 令和3年6月15日（火）～6月22日（火）

II期 令和3年6月15日（火）～6月22日（火）、9月9日（木）～9月24日（金）

【自己推薦型】

選考方法

- 出願書類(総合型選抜キャリア計画書、調査書等)、面接および小論文(家政学部食物学科のみ)を総合して合否を判定します。
ただし、面接、小論文(該当学科のみ)のいずれかを受験しなかった場合、受験放棄とみなし、不合格とします。
- 面接は、複数の面接担当者で個人面接を行います。時間は1人約30分間です。面接では、志望理由、学科・専攻への適性、基礎学力などを見ます。
- I期のみ2段階選考を実施し、第一次選考の通過者を対象に「入学までの学習計画書」を提出していただきます。

面接

学部・学科・専攻		面接			
		口頭試問	プレゼン	内容	
家政学部	被服学科		○		被服分野に関する知識の質問を含む
	食物学科	食物学専攻	○	○	食への幅広い関心と知識、化学基礎、生物基礎への理解、コミュニケーション能力を問う 学科課題に関するプレゼンテーション(5分以内)を含む
		管理栄養士専攻	○	○	食への幅広い関心と知識、化学基礎、生物基礎への理解、コミュニケーション能力を問う 学科課題に関するプレゼンテーション(5分以内)を含む
	児童学科	児童学専攻	○		事前に提出いただいた書類の内容に即した質問を行う
		児童教育専攻	○		事前に提出いただいた書類の内容に即した質問を行う
ライフデザイン学科		○		生活の諸問題や時事に関する質問を含む	
文学部	日本文学科		○		日本の文学、語学、文化、歴史についての基礎知識等を問う(高等学校国語科の内容を含む)
	英語英文学科		○		英語の基礎的な知識・技能を問う質問を含む 面接の一部を英語で行う
	コミュニケーション文化学科		○		現代の文化・社会に関する質問を含む
社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻	○		現代社会、経済、時事に関する質問を含む
		環境情報学専攻	○		環境に関する質問を含む
		情報デザイン専攻	○	○	課題についてのプレゼンテーション(5分以内)、質問を含む
人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻	○		現代社会の諸問題に関する質問を含む
		社会・臨床心理学専攻	○		心理学への関心に関する質問を含む
	人間福祉学科		○		本学科で学ぶ動機、キャリア計画、日本の福祉の現状に関する知識及び考えについての質問を含む
比較文化学部	比較文化学科		○		学びたい地域の歴史や文化に関する質問を含む
短期大学部	家政科	家政専攻	○		衣・食・住生活、保育、環境、健康に関する質問を含む
		生活総合ビジネス専攻	○		国語力その他の基礎学力や一般常識に関する質問を含む
		食物栄養専攻	○		専門に必要な基礎知識や食・栄養・健康に関する質問を含む
	国文科		○		日本語、日本文学の基礎知識に関する質問を含む
	英文科		○		自分の将来に関する英語のスピーチ及び質疑応答を含む

小論文(家政学部食物学科のみ)

小論文は文章読解論述型、資料分析型、テーマ型、理科論述型、設問解答型などの形式もしくはこれらの形式を複数組み合わせる形で出題されます。

【自己推薦型】

募集人員

大学学部（4年制）

学部・学科・専攻		I期	II期	
家政学部	被服学科		25	—
	食物学科	食物学専攻	12	—
		管理栄養士専攻	3	—
	児童学科	児童学専攻	7	—
		児童教育専攻	7	—
ライフデザイン学科		20	—	
文学部	日本文学科		20	—
	英語英文学科		20	—
	コミュニケーション文化学科		25	—
社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻	6	—
		環境情報学専攻	8	—
		情報デザイン専攻	9	—
人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻	10	5
		社会・臨床心理学専攻	15	—
	人間福祉学科		16	5
比較文化学部	比較文化学科		20	—

短期大学部（2年制）

学部・学科・専攻		I期	II期	
短期大学部	家政科	家政専攻	18	3
		生活総合ビジネス専攻	20	3
		食物栄養専攻	20	5
	国文科		12	2
	英文科		15	2

【情報技術評価型】

入学者選抜の基本方針

提出された書類に基づく詳細な審査および面接等により、志願者の能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を総合的に評価する。

出願要件

以下の各要件を満たしている女子

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校等を令和4年3月卒業見込みの者または卒業後5年以内（平成28年9月以降の卒業）の者
- (2) 本学の教育目的や理念を具現するにふさわしい旺盛な学習意欲と問題意識を有し、かつ創造性・行動力などの能力と資質を有する者で、本学を第一志望として入学を志す者
- (3) 本学の学修・教育環境を積極的に活用し、志望理由としてあげた自己の目標や構想を実現するに十分な意欲と能力を有する者
- (4) 以下のいずれかの要件を満たしている者
 - ①日本情報オリンピック（JOI）予選の成績がBランク以上の者
 - ②情報処理推進機構が実施する基本情報技術者試験の合格者
 - ③他の資格試験またはコンテスト等の受賞により、上記①②と同等以上の情報技術を有する者

※出願要件(1)については以下の者も含まれます。

- ・通常の課程による12年の学校教育を令和4年3月修了見込みの者および修了後5年以内の者
- ・学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和4年3月31日までにこれに該当する見込み者で令和4年3月31日までに18歳以上かつ23歳以下の者

選考方法

- (1) 出願書類（総合型選抜キャリア計画書、調査書等）、面接を総合して可否を判定します。
※キャリア計画書は、「1 志望学科・専攻について」、「2 キャリア計画」、「4 活動報告」、「5 志望学科・専攻へのアプローチについて」のみ記入してください。出願要件(4)の証明書類（コピー可）を提出してください。
- (2) 面接は、複数の面接担当者で個人面接を行います。時間は1人約15分間です。面接では、志望理由、専攻への適性、基礎学力などを見ます。
- (3) 2段階選考を実施し、第一次選考の通過者を対象に「入学までの学習計画書」を提出していただきます。

募集人員

学部・学科・専攻			情報技術評価型
社会情報学部	社会情報学科	情報デザイン専攻	若干名

【共通】

入試日程

総合型選抜 自己推薦型 I 期・情報技術評価型

出願期間	9月 1日(水)～9月 6日(月) [郵送必着]			
受験票発送日 (予定)	9月 15日(水)			
面接日時発表期間	9月 17日(金)～10月 3日(日)			
第一次選考 小論文試験日 (該当学科のみ実施※)	9月 25日(土)10:00～11:00			
第一次選考面接日	家政学部 文学部 社会情報学部 比較文化学部	9月 25日(土) 9月 26日(日) 10月 2日(土) 10月 3日(日)	左記のうち いずれか1日	人間関係学部
試験場	短期大学部	千代田キャンパス		多摩キャンパス
第一次選考結果発表日	10月 9日(土) 15:00 から			
第二次選考 書類提出期間	10月 10日(日)～10月 22日(金) [郵送必着]			
合格発表日	11月 1日(月) 15:00 から			
入学手続期間	11月 2日(火)～11月 8日(月) [当日消印有効]			

※家政学部食物学科のみ

9/25(土)は午前中に小論文試験を実施しますので、午前中の面接はありません。

総合型選抜 自己推薦型 II 期

出願期間	11月 29日(月)～12月 3日(金) [郵送必着]			
受験票発送日 (予定)	12月 7日(火)			
面接日時発表期間	12月 9日(木)～12月 11日(土)			
面接日	短期大学部	12月 11日(土)		人間関係学部
試験場		千代田キャンパス		多摩キャンパス
合格発表日	12月 16日(木) 10:00 から			
入学手続期間	12月 17日(金)～12月 22日(水) [当日消印有効]			

【共通】

出願手続

1. 入学検定料納入期間及び出願期間

期別	入学検定料納入期間	出願期間（郵送必着）
自己推薦型Ⅰ期 情報技術評価型	令和3年 8月20日(金)～9月 6日(月)	令和3年 9月 1日(水)～9月 6日(月)
自己推薦型Ⅱ期	令和3年 11月17日(水)～12月 3日(金)	令和3年 11月29日(月)～12月 3日(金)

2. 入学検定料

35,000 円

3. 入学検定料の納入

(1) 「入学願書（A 票）・振込依頼書（B 票）・振込領収書（C 票）」を使用してください。

(2) 納入方法

入学検定料は金融機関またはコンビニエンスストアで納入できます。出願締切に間に合うよう、余裕をもって納入手続をしてください。

[1. 金融機関での納入の場合]

- ① 入学願書 A～C 票に必要事項を記入し、そのまま切り離さずに、金融機関の窓口から電信扱いで振り込んでください。ゆうちょ銀行・郵便局、インターネット、ATM での納入はできません。
- ② 振込後に金融機関から A、C 票を受け取り、必ずその場で A、C 各票に「金融機関取扱店収納印」が押印されていることを確認してください。押印されていないものは無効です。振込領収書（C 票）は各自で保管してください。

[2. コンビニエンスストアでの納入の場合]

- ① 入学願書 A 票に必要事項を記入してください。B、C 票の記入は不要です。
- ② 「セブン-イレブン」、「ローソン」、「ファミリーマート」等の各店で納入できます。納入方法の詳細（23 ページ）をよく読み、手続を行ってください。
- ③ コンビニエンスストアで発行される「入学検定料収納証明書」を A 票に貼付し、A 票のみ提出してください。B、C 票は提出不要です。

※コンビニエンスストアでの納入方法についての問い合わせ <https://e-shiharai.net/>

4. 出願書類

出願に必要な書類は次のとおりです。

- (1) 総合型選抜入学願書
- (2) 総合型選抜キャリア計画書
- (3) 調査書（厳封、開封無効）
- (4) 「総合型選抜の選考において重視する項目」または「活動報告」に関する資料
※(4)は該当者のみ提出してください。詳しくは21 ページを参照してください。
- (5) 【情報技術評価型のみ】出願要件(4)の証明書類（コピー可）

<出願書類等の活用方法について>

キャリア計画書、調査書、その他の出願書類等は出願要件の確認のほか、高校等での学習・生活状況等の把握および面接資料として活用します。

(1) 総合型選抜入学願書

記入例（24 ページ）をよく読み、正確に記入してください。

(2) 総合型選抜キャリア計画書

- ① キャリア計画書の冊子は1～7 ページまで、すべての項目において記入してください。ただし、5 ページの使用に関しては8 ページ以降の「各学科・専攻からの課題」の指示に従ってください。家政学部児童学科は、課題に関する所定用紙が11 ページ以降にあるので、4～6 ページの記入は不要です。情報技術評価型は、「各学科・専攻からの課題」の記入は不要です。
- ② 1 ページの写真貼付欄に写真を必ず貼付してください。
- ③ 高等学校等在学中の場合、1 ページの所定の欄に担任の先生または進路指導の先生の署名・押印が必要です。
- ④ 人間関係学部志願者は、1 ページの所定の欄に今年度のオープンキャンパスなどで教員による説明を受けた日付を記入してください。
- ⑤ 家政学部食物学科志願者は、キャリア計画書14 ページの小論文写真票を記入し、写真を貼付してください。

(3) 調査書

- ① 高等学校等卒業見込みの場合、最終学年第1 学期まで、または前期までの学業成績等が記載されている調査書を提出してください。
- ② 2 期制の高等学校等を卒業見込みの場合で、最終学年前期までの学業成績等が記載された調査書が発行できない場合は、前期中間試験までの学業成績等が記載された調査書を提出してください。
- ③ ①、②が発行できない場合は、前年度までの学業成績等と最終学年での履修科目が記載された調査書を提出してください。③に該当する場合、先生にこのページを提示して発行をお願いしてください。
- ④ 下表に該当する方は、それぞれの指示に従ってください。不明な点については広報・入試センター（千代田）にお問い合わせください。

高等学校卒業程度認定試験に合格 または合格見込みの場合	次の書類を提出してください。 ・合格（見込）成績証明書 以下に該当する場合は、次の書類も提出してください。 〈高等学校等に在籍していたことがある場合〉 ・高等学校等の調査書もしくは成績証明書 〈高等学校卒業程度認定試験において免除科目がある場合〉 ・免除科目の単位取得を証明する書類（高等学校等の成績証明書等）
複数の高等学校に在籍した場合	それぞれの学校が発行した調査書を提出してください。ただし、前籍校と合わせた調査書が発行できる場合は1 通で構いません。その際は必ずそれぞれの学校名と在籍年月が記載されたものを提出してください。
留学中の単位が認められ国内の高等学校等を卒業する（した）場合	国内高等学校等については調査書を提出し、留学先学校については成績証明書を提出してください。なお、留学先の成績証明書が発行されない場合は、在学している（いた）国内の高等学校等が保管する留学先の成績証明書の写しに学校長の署名・公印が押印されたものを提出してください。
大学に在学していた場合	大学の成績や修了を証明する書類の提出は不要です。 ただし、活動報告に大学在学時のことを記入する場合は、添付資料として成績証明書等の提出を認めます。
調査書等と出願書類で氏名が異なる場合	戸籍抄本など、同一人物であることを証明する書類（個人番号（マイナンバー）が記載されていないもの）を提出してください。 なお、外国籍の方が通称名を用いる場合は、住民票に記載されている通称名に限ります。
調査書が発行されない場合（廃校・被災等）	成績証明書など、在学時の活動を示す書類および卒業（修了）証明書を提出してください。

(4) 「総合型選抜の選考において重視する項目」または「活動報告」に関する資料

- ① 各学科・専攻の定める「総合型選抜の選考において重視する項目」(1ページ以降)または、キャリア計画書6ページにある「活動報告」に記入した内容に関する資料がある場合は、資料の添付を認めます。
資料は可能な限りA4サイズに統一し、必ず紙媒体で提出してください。

【例】・段位等の証明書、免許状などの写し

- 部活動、ボランティア活動等の「活動証明書」や「推薦書」、それに類する書類(所定の用紙・書式等はありません)
- 賞状、感謝状等の写し
- 活動に関する新聞記事の切り抜き
- 作品の写真や、活動状況の写真(A4の用紙に貼付したもの)など

ただし、各学科・専攻の定める「総合型選抜の選考において重視する項目」で指定されている資格・検定試験を取得している場合は、各実施機関の発行する証明書類(コピー可)の提出をもって取得を認定します。

■英語の資格・検定試験の証明書類

出願時は、該当の資格・検定試験における英語能力を証明する書類(コピー可)を提出してください。

- ① 実用英語技能検定試験(英検)[CBT, 1day S-CBT, S-CBTを含む]…合格証書、合格証明書(和文)または英検CSEスコア証明書
- ② GTEC(4技能版)…OFFICIAL SCORE CERTIFICATE(オフィシャルスコアに限る)
GTEC CBTタイプ…OFFICIAL SCORE CERTIFICATE(オフィシャルスコアに限る)
- ③ TEAP…成績表
- ④ TOEFL iBT®…Examinee Score ReportまたはTest Taker Score Report(受験者用控えスコアレポート)
- ⑤ TOEIC®(L&RおよびS&W)…Official Score Certificate(公式認定証)またはスコアレポート(個人成績表)
- ⑥ IELTS…成績証明書(Test Report Form)
- ⑦ ケンブリッジ英語検定…認定ステートメントまたは認定証

●証明書の有効期限について

各英語外部検定試験の実施団体が定める固有の有効期限に関わらず、そのスコア・等級取得日が高等学校等在学中または2019年4月以降であることを成績証明書等で確認できる場合は、その結果を有効なものとなります。

■国語の資格・検定試験の証明書類

出願時は、該当の資格・検定試験における国語能力を証明する書類(コピー可)を提出してください。

- ① 日本漢字能力検定(日本漢字能力検定協会)…合格証書または合格証明書
- ② 日本語検定(日本語検定委員会)…認定証または認定証明書
- ③ 語彙・読解力検定(朝日新聞社・ベネッセコーポレーション)…合格認定証または合格証明書

●証明書の有効期限について

取得年度は問いません。

家政学部児童学科志願者は、「総合型選抜の選考において重視する項目」に関する資料がある場合は、課題②の後ろにつけてください(キャリア計画書12ページ)。

文学部英語英文学科、短期大学部英文科の「各学科・専攻からの課題」免除に該当する志願者は、キャリア計画書4ページに証明書類を貼付してください。

- ② 出願時に作品の実物を添付することは不可とします。

ただし、次の学科・専攻については、「総合型選抜の選考において重視する項目」(1ページ以降)の出願時の注意を確認してください。

- 文学部英語英文学科
- 文学部コミュニケーション文化学科
- 社会情報学部社会情報学科情報デザイン専攻
- 短期大学部英文科

(5) 【情報技術評価型のみ】出願要件(4)の証明書類

17ページに記載の出願要件(4)を証明する書類を提出してください(コピー可)。

5. 出願書類の提出

(1) 提出方法

入学検定料を納入後、本学所定の出願書類提出用封筒を使用し、封筒表面に同封の宛名シールを貼付のうえ、必ず郵便局の窓口から**簡易書留速達**で郵送してください。大学窓口での受付はしません。

出願書類提出用封筒の裏面にも記入項目がありますので、必ず記入してください。

出願書類提出用封筒を破損したときは、市販の封筒（角2型）を使用してください。その際は封筒の表面下部に、「住所」、「氏名」、「志望学部・学科・専攻」、「総合型選抜出願書類在中」と必ず明記してください。

(2) 注意事項

- ① 入学検定料未納または出願書類未提出の場合、出願受付できません。
- ② 複数学科・専攻への出願はできません。
- ③ 出願書類に不備がある場合は、受付できないことがありますので注意してください。また、出願書類等に関する本学からの連絡には、速やかにその指示に従ってください。
- ④ 出願後は、出願書類の修正や、資料の追加送付はできません。
- ⑤ 出願後の入試種別、学科・専攻の変更はできません。
- ⑥ 出願書類に虚偽の記載内容があった場合は、受験を無効とし、入学を取り消すことがあります。
- ⑦ 入学検定料および出願書類は、いかなる事情があっても返還しません。
- ⑧ 出願締切日までに到着しなかった出願書類は受理しません。なお、出願期間前に到着した出願書類は、出願期間開始日まで本学にて保管します。

- (3) 疾病・負傷や障がい等のため、受験上および修学上、特別な配慮を希望する場合は、申出締切日までに、必ず広報・入試センター入試グループ（千代田）までご相談ください（tel. 03-5275-0404）。また、それ以降に事故で負傷した方等についても、同様に配慮することがありますので、速やかに本学に申し出てください。なお、入学後のカリキュラムの履修および各種プログラムへの参加が困難な場合がありますので、必要に応じて面談をさせていただくことがあります。受験上・修学上の配慮については、場合によってはご希望に添えないこともありますので、予めご了承ください。

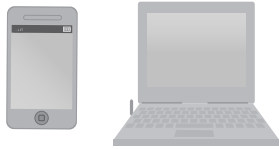
（申出締切日）自己推薦型Ⅰ期・情報技術評価型 令和3年 7月 7日(水)

自己推薦型Ⅱ期 令和3年 11月 10日(水)

大妻女子大学・大妻女子大学短期大学部 コンビニエンスストアでの入学検定料の納入方法

入学検定料はコンビニエンスストア「セブン-イレブン」「ローソン」「ミニストップ」「ファミリーマート」で24時間いつでも納入が可能です。

1 Webで事前申込み



画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得してください。

<https://e-shiharai.net/>

本学HP
からも
アクセス
できます！



※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行わず、もう一度入力し直して、新たな番号を取得してお支払いください。支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。

2 コンビニでお支払い

- 入学検定料はATMでは振り込みできません。必ずレジでお支払いください。
- 店頭端末機の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。
- 入学検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。

7 ELEVEN
【払込票番号（13ケタ）】

●レジにて
「インターネット支払い」と店員に伝え、印刷した【払込票】を渡すか、【払込票番号】を伝えてお支払いください。

マルチコピー機は使用しません

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料 取扱明細書」・「領収書」（レシート）を受け取ってください。

LAWSON **MINI STOP**
【お客様番号（11ケタ）】
【確認番号（4ケタ）】

Looppiへ

各種サービスメニュー

各種代金・インターネット受付
(紫のボタン)

各種代金お支払い

マルチペイメントサービス

【お客様番号】【確認番号】を入力

店頭端末機より出力される「申込券」(受付票)を持って、30分以内にレジでお支払いください。

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。

FamilyMart
【お客様番号（11ケタ）】
【確認番号（4ケタ）】

Famiポートへ

代金支払い

各種代金お支払い

番号入力画面に進む

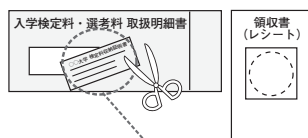
【お客様番号】【確認番号】を入力

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料 取扱明細書」・「領収書」（レシート）を受け取ってください。

3 出願

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、入学願書の所定欄に貼る。

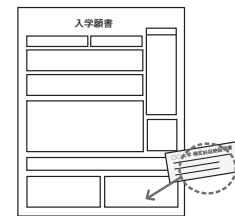
- セブン-イレブン ●ファミリーマート
「入学検定料・選考料 取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。
「領収書（レシート）」は保管。



- ローソン ●ミニストップ
「入学検定料・選考料 取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。
「取扱明細書兼領収書」は保管。



「収納証明書」を入学願書の所定の欄に貼付。封筒に必要書類を入れ、郵便局窓口へ。



入学願書に貼付する「収納証明書」部分

※「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載されている糊は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

■入学検定料の納入期間

総合型選抜(自己推薦Ⅰ期・情報技術評価型)	令和3年 8月20日(金)～ 9月 6日(月)
総合型選抜(自己推薦Ⅱ期)	令和3年 11月17日(水)～12月 3日(金)

■注意事項

- 納入期間をご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもって手続きをしてください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機の操作は23:30までです。
- 一度お支払いされた入学検定料は返金できません。
- 取扱いコンビニ、支払い方法は変更になることがあります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。

「コンビニでの入学検定料納入」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトをご確認ください。

<https://e-shiharai.net/>

【入学願書の記入例と注意点】

総合型選抜 家政学部食物学科食物学専攻の志願者の例

A票 令和4年度大妻女子大学・大妻女子大学短期大学部 総合型選抜 入学願書

※ 志願者本人が、黒ボールペンを使用し、太枠内を記入してください。記入の際は募集要項 24、25 ページを参照してください。

濁点1マス

年・月・日が1ケタの場合、左マスに0を記入し、2ケタとしてください。

受験票、課題、合格通知書、手続書類を受け取る住所を記入してください。住所が長く、住所1に入りきらない場合は、住所2にマンション名等から記入してください。

卒業年月 該当する番号に○をつけてください。なお、年度の途中の卒業者は、同年度の3月卒業者と同一年度の番号に○をつけてください。 <例> 令和3年6月卒業者：令和4年3月卒業見込み欄

高等専門学校第3学年修了(見込)者は、第3学年修了年月の番号に○をつけてください。

以下に該当する方は6に○をつけてください。

- ・高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者
- ・外国の高等学校修了(見込)者
- ・文部科学大臣の指定した者
- ・在外教育施設の課程修了(見込)者
- ・専修学校の高等課程卒業(見込)者
- ・本学の個別の入学資格審査で認定を受けた者

課程、学科別

- ・「卒業年月」が1～5に該当する方は「課程」は1～3のいずれか、「学科別」は1～7のいずれかに○をつけてください。
- ・高等専門学校第3学年修了(見込)者および「卒業年月」が6に該当する方は「課程」は4、「学科別」は8に○をつけてください。

課程表:

課程	1	2	3	4	5	6	7	8	卒業年月
全日制	○								令和4年3月卒業見込み
定時制									令和3年3月卒業
通信制									令和2年3月卒業
高等学校もしくは中等教育学校卒業以外									平成31年3月卒業
普通科									平成30年3月卒業
理数科									高等学校卒業程度認定試験合格・その他
農業科									
工業科									
商業科									
総合科									
1～6以外の学科									
高等学校もしくは中等教育学校卒業以外									

面接希望日(都合の悪い日および時間帯に×をつけてください。)

家政・文・社会情報・比較文化・短期大学部	人間関係学部
自己推薦型I期・情報技術評価型	自己推薦型I期
9月25日出※	9月25日出
9月26日(日)	9月26日(日)
10月2日出	自己推薦型II期
10月3日出	午前 午後
自己推薦型II期	9月25日出の午前×をつけてください。
12月11日出	

面接希望日欄に×をつけた理由

(例) 9/25 学校行事のため

10/3 インターハイ出場のため

金融機関取扱店取納印

コンビニエンスストアで入学検定料を納入した場合は、この枠内に「取納証明書」を貼付してください。(入学願書のB、C票は提出不要です。)

https://e-shiharai.net/ (取扱店→依頼人)

B票 大妻女子大学 大妻女子大学短期大学部 令和4年度 総合型選抜 入学検定料 振込依頼書

振込先 三井住友銀行 麹町支店 振込金額 ￥35,000

口座種別 普通 口座番号 6 2 1 3 氏名 カタカナ オオツマ ジュンコ

受取人名 ガク 大妻女子大学 学校法人 大妻学院 漢字 大妻 じゃん子

住所 〒102-0075 東京都千代田区若葉町122-34 興和アパルト101号室 tel. 03-5275-0404

振込期限: 自己推薦型I期・情報技術評価型 令和3年8月20日(金)～9月6日(月) 自己推薦型II期 令和3年11月17日(水)～12月3日(金)

金融機関取扱店取納印

(取扱店保管)

C票 大妻女子大学 大妻女子大学短期大学部 令和4年度 総合型選抜 入学検定料 振込領収書 (本人控)

振込金額 ￥35,000

振込先 三井住友銀行 麹町支店

口座種別 普通

口座番号 6 2 1 3

受取人名 学校法人 大妻学院

氏名 大妻 じゃん子

上記の金額を受領しました。

※注意 いったん納入された入学検定料は、いかなる事情があっても返還しません。

金融機関取扱店取納印

(取扱店→依頼人)

年・月・日が1ケタの場合、左マスに0を記入し、2ケタとしてください。

受験票、課題、合格通知書、手続書類を受け取る住所を記入してください。住所が長く、住所1に入りきらない場合は、住所2にマンション名等から記入してください。

卒業年月 該当する番号に○をつけてください。なお、年度の途中の卒業者は、同年度の3月卒業者と同一年度の番号に○をつけてください。 <例> 令和3年6月卒業者：令和4年3月卒業見込み欄

高等専門学校第3学年修了(見込)者は、第3学年修了年月の番号に○をつけてください。

以下に該当する方は6に○をつけてください。

- ・高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者
- ・外国の高等学校修了(見込)者
- ・文部科学大臣の指定した者
- ・在外教育施設の課程修了(見込)者
- ・専修学校の高等課程卒業(見込)者
- ・本学の個別の入学資格審査で認定を受けた者

課程、学科別

- ・「卒業年月」が1～5に該当する方は「課程」は1～3のいずれか、「学科別」は1～7のいずれかに○をつけてください。
- ・高等専門学校第3学年修了(見込)者および「卒業年月」が6に該当する方は「課程」は4、「学科別」は8に○をつけてください。

記入上の注意事項 (3) 参照

B、C票の住所・氏名はA票と一致させてください。

コンビニエンスストアで入学検定料を納入する場合、B、C票を記入する必要はありません。志願者本人が切り離し、A票のみ提出してください。

記入上の注意事項

- (1) 入学願書は、黒ボールペンで記入し、書き損じた場合でも修正液は使用しないでください。書き損じた場合は、間違えた箇所に二重線を引き、訂正印を押印のうえ、余白に正しい内容を記入し、訂正してください。
- (2) 氏名は戸籍に記載されているものを記入してください。電算処理において表記できない文字は、受験票、合格通知書等で文字が置き換えられるか、カタカナ等で表記されることがあります。
＜例＞ 吉→吉、土→土、角→角、祐→祐、橋→橋
外国籍の方が通称名を用いる場合は、住民票に記載されている通称名に限ります。
- (3) 志望学科等は正確に選択してください。学科・専攻の名称、選択した学科・専攻で取得できる資格等をよく確認してください。
＜間違いやすい例＞
 - ・家政学部食物学科**食物学**専攻 と 家政学部食物学科**管理栄養士**専攻
 - ・短期大学部家政科**家政**専攻 と 短期大学部家政科**食物栄養**専攻
 - ・文学部**英語英文**学科 と 短期大学部**英文**科
- (4) 高校等コード欄には、「高等学校等コード表」(35ページ以降)を参照し、該当する出身高校等のコードを記入してください。高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者、外国の高等学校修了者等は43ページを参照してください。
- (5) 面接希望日欄は、都合の悪い日および時間帯に×をつけ、理由を記入してください。設定のない日に記入がある場合は無効とします。
※家政学部食物学科志願者は、小論文試験が必須のため、9月25日(土)の午前に×をつけてください。当日の午後に、強く面接を希望する方は、9月25日(土)の午後に○をつけてください。ただし、面接開始までに数時間かかる場合があります。

受験票の発送

- (1) 自己推薦型Ⅰ期・情報技術評価型は9月15日(水)頃、自己推薦型Ⅱ期は12月7日(火)頃に志願者宛に発送します。自己推薦型Ⅰ期・情報技術評価型は9月21日(火)午前中、自己推薦型Ⅱ期は12月10日(金)午前中までに受験票が届かない場合は、広報・入試センター(千代田)にお問い合わせください。
受験票が届いたら、記載事項に間違いがないかを必ず確認してください。
- (2) 面接、小論文試験当日は受験票を必ず持参してください。

【共通】

面接日時発表

1. 発表期間

自己推薦型Ⅰ期・情報技術評価型 令和3年 9月17日(金) 15時 ~ 10月 3日(日) 17時
自己推薦型Ⅱ期 令和3年 12月 9日(木) 10時 ~ 12月11日(土) 17時

2. 発表の方法

Webによる面接日時照会システムで発表します。

3. 注意事項

- (1) 受験票を用意し、操作をしてください。
- (2) 書面等での通知は一切行いませんので、忘れずに各自で確認し、日時を手元に控えておいてください。
- (3) 電話等による問い合わせには応じません。
- (4) 発表期間以外は利用することができません。

〈操作ガイド〉 **【照会 URL】** <https://www.go-pass.net/mche/otsuma/>

照会にあたり、受験番号と誕生日が必要になります。事前に準備しておきましょう。

受験番号

誕生日



Webでの確認方法

※下図はイメージであり、実際の画面とは異なります。

- 1 照会 URL にアクセスする。



※QRコード対応機種で利用できます。

- 2 「個人情報の取扱いについて」の表示内容を確認し、「同意して利用する」をクリックする。

- 3 受験番号9けた(半角)と、誕生日4けた(半角)を入力する。

受験番号・誕生日を入力してください。

受験番号 (半角9けた)

誕生日 (半角4けた)

※受験番号はハイフンを除いた9けた (半角)

※誕生日が2月8日の場合は『0208』 (半角)

4 面接日時発表

受験番号○○○○○○○○○○の方は、

面接日時が、○月○日午前(午後)○○時○○分です。

面接開始20分前までに集合してください。

集合場所は、○○○キャンパスです。

利用できる機器等について

1. インターネットに接続されたパソコンやスマートフォン等の携帯端末で確認ができます。
2. パソコンのブラウザの設定によっては、画像のずれ、文字化け等が発生する場合があります。その場合はブラウザを調整してください。
3. パソコンの性能やインターネットへの接続方法等で、表示に時間がかかる場合があります。

【共通】

面接、小論文試験

1. 集合時間

千代田キャンパス、多摩キャンパスともに午前8時に試験場を開場します。

面接	面接日時照会システムで指定された面接日時の20分前までに集合してください。
小論文	家政学部食物学科を受験する方は小論文試験が必須です。 9月25日(土)9時30分までに集合してください。

2. 集合場所

学部	集合場所	所在地・当日連絡先
家政・文・社会情報・比較文化・短期大学部	千代田キャンパス（裏表紙参照） 本館E棟入口	東京都千代田区三番町12番地 広報・入試センター tel. 03-5275-0404
人間関係学部	多摩キャンパス（裏表紙参照）	東京都多摩市唐木田2丁目7番地1 教育・学事支援センター tel. 042-372-9970

※試験場への入場者抑制の観点から保護者等控室は設けません。受験生への付き添いが必要な場合はご相談ください。

3. 試験当日の注意事項

面接、小論文共通

(1) 持ち物

- ① 受験票、筆記用具を必ず持参してください。万一受験票を忘れた場合は、係員に申し出て再発行を受けてください。上履きは不要です。
- ② 携帯電話等の通信機器は、試験場に入る前にアラーム設定を解除し、電源を切ってカバン等にしまってください。試験時間中に時計として使用することはできません。

(2) 遅刻・欠席

遅刻した場合は、係員の指示に従ってください。

小論文は試験開始から30分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長はしません。

集合時間に間に合わない場合（交通機関の事故、やむを得ず欠席する場合等）は、事前に上記の当日連絡先に必ず連絡してください。連絡がない場合は、本学から確認の電話をします。試験場付近の公共交通機関に大幅な遅延が発生した場合などは、面接（小論文）時間を繰り下げることがあります。

(3) 入退出

入室から終了までは、発病またはトイレ等、やむを得ない場合以外の退室・退場は認めません。

(4) 不正行為

以下の行為は不正行為となることがあります。

(面接、小論文共通)

- ① 試験場において監督者の指示に従わないこと。
- ② 試験時間中に携帯電話等の通信機器を身に付けたり、操作したりすること。
- ③ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ④ 漢字・英文字・地図等がプリントされている上着等を持ち込むこと。
- ⑤ その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

(面接)

- ① 受験者間で面接情報の交換をすること。

(小論文)

- ① カンニングをすること。
- ② 使用を認められていない用具を使用して問題を解くこと。

不正行為の疑いがある場合、試験監督者による事情聴取、別室受験、退出等を求めることもあります。不正行為となった場合、それ以降の受験はできません。また、すでに受験した試験もすべて無効となり、入学資格を失います。

(5) その他

生活騒音(自動車、風雨、空調音、くしゃみ等)が発生した場合でも、原則として特別な措置は行いません。

面接

面接時に実演（パフォーマンス）、作品等の持ち込みをすることは不可とします。

ただし、次の学科・専攻については、「総合型選抜の選考において重視する項目」（1ページ以降）の面接時の注意を確認してください。

- 家政学部食物学科
- 社会情報学部社会情報学科社会生活情報学専攻
- 文学部日本文学科
- 社会情報学部社会情報学科情報デザイン専攻

小論文

- (1) 試験室では、指示された受験番号の席に着席し、試験監督者の指示に従ってください。
- (2) 解答には必ず**HB**の黒鉛筆（またはシャープペンシル）、消しゴムを使用してください。
その他、試験時間中に使用できる用具、使用できない用具、使用に許可が必要な用具は下記のとおりです。

使用できる用具	鉛筆削り（電動式不可）、鉛筆キャップ、時計（時刻だけを表示するものに限る。アラーム機能は、入室前に設定を解除すること。）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋または箱から取り出したもの）、目薬
使用できない用具	定規、下敷き、電卓、耳せん、辞書
試験監督者の許可が必要な用具	使い捨てカイロ、ひざかけ（上着等の代用含む）

【共通】

選考結果発表・合格発表

1. 第一次選考結果発表

自己推薦型Ⅰ期・情報技術評価型 令和3年10月9日(土) 15時～10月22日(金) 15時

2. 合格発表

自己推薦型Ⅰ期・情報技術評価型 令和3年11月1日(月) 15時～11月8日(月) 15時
自己推薦型Ⅱ期 令和3年12月16日(木) 10時～12月22日(水) 15時

3. 発表方法

- Webを利用した選考結果等照会システムにより行います。
- 【自己推薦型Ⅰ期・情報技術評価型のみ】選考結果が「適格」と判定された方には、第二次選考の「入学までの学習計画書」が郵送されます。期日(郵送必着)までに作成し、簡易書留速達で郵送してください。「入学までの学習計画書」が令和3年10月14日(木)までに到着しない場合は、広報・入試センター・入試グループ(千代田)に連絡してください。(tel. 03-5275-0404)
- 合格者には、合格発表日に合格通知および入学手続書類が届きます。手元に届くのは多くの場合、合格発表日の翌日以降となります。

4. 注意事項

- 受験票を用意し、操作をしてください。
- 合格通知書の未着、選考結果等照会システムの誤操作等を理由とした入学手続期間の延長は認めません。
- 電話等による選考結果、合否結果の問い合わせには応じません。
- 発表期間以外は利用することができません。

〈操作ガイド〉 **【照会 URL】** <https://www.go-pass.net/mche/otsuma/>

照会にあたり、受験番号と誕生日が必要になります。事前に準備しておきましょう。

受験番号 誕生日



Webでの確認方法

※下図はイメージであり、実際の画面とは異なります。

1 照会 URL にアクセスする。



※QRコード対応機種で利用できます。

2 「個人情報の取扱いについて」の表示内容を確認し、「同意して利用する」をクリックする。

3 受験番号9けた(半角)と、誕生日4けた(半角)を入力する。

受験番号・誕生日を入力してください。

受験番号 (半角9けた)

誕生日 (半角4けた)

※受験番号はハイフンを除いた9けた(半角)

※誕生日が2月8日の場合は『0208』(半角)

【第一次選考結果発表】

4

【適格】

選考の結果、適格と判定されました。「入学までの学習計画書」を郵送します。期日までに提出してください。

【不合格】

残念ながら不合格です。

【欠席・棄権】

欠席または試験の一部を受験していないため、残念ながら不合格です。

【合格発表】

4

【合格】

おめでとうございます。合格です。合格通知書を郵送しました。

【不合格】

残念ながら不合格です。

【欠席・棄権】

欠席または試験の一部を受験していないため、残念ながら不合格です。

利用できる機器等について

- インターネットに接続されたパソコンやスマートフォン等の携帯端末で確認ができます。
- パソコンのブラウザの設定によっては、画像のずれ、文字化け等が発生する場合があります。その場合はブラウザを調整してください。
- パソコンの性能やインターネットへの接続方法等で、表示に時間がかかる場合があります。

入学手続

納入した入学金および入学手続書類は、いかなる事情があっても返還しません。
詳細は、合格者に交付する「入学手続の手引」でご確認ください。

1. 入学手続時納入金

(1) 納入期間

自己推薦型Ⅰ期・情報技術評価型 令和3年11月 2日(火)～11月 8日(月)

自己推薦型Ⅱ期 令和3年12月17日(金)～12月22日(水)

納入期限までに本学の指定口座に送金されていない場合は、棄権とみなします。

※納入期限日に振り込む場合は、金融機関から本学への送金が当日扱いになるか金融機関の窓口で確認してから手続をしてください。

(2) 納入方法

納入期限までに金融機関の窓口から**電信扱い**で振り込んでください。**ゆうちょ銀行・郵便局、インターネット、ATMからの振り込みはできません。**

(3) 納入金額（参考：30ページ 令和3年度納入金、令和4年度は未定）

入学する学部・学科により入学手続時納入金合計が異なります。30ページの表を参考にしてください。

令和4年度納入金は、決定次第本学ホームページに掲載します（9月上旬頃を予定）。また、合格者に交付する「入学手続の手引」でお知らせします。

2. 入学手続書類

「入学手続の手引」に従って、入学手続締切日〔当日消印有効〕までに**簡易書留速達**で郵送してください。

3. 入学辞退・納入金返還

入学手続時納入金を納入した方が、やむを得ない事情により入学を辞退する場合、本学所定の手続を令和4年3月31日(木)までに行えば、入学金以外の入学手続時納入金を返還します。

入学手続時納入金について(参考:令和3年度入学手続時納入金)

入学する学部・学科・専攻で入学手続時納入金額が異なります。以下の表で確認してください。
令和4年度納入金は決定次第、ホームページに掲載します。

大学学部

(単位:円)

区分	家 政 学 部				文学部	社会情報学部	人間関係学部	比較文化学部	備 考
	被服学科	食 物 学 科		児童学科 ライフデザイン学科	日本文学科 英語英文学科 コミュニケーション 文化学科	社会情報学科	人間関係学科 人間福祉学科	比較文化学科	
		食物学専攻	管理栄養士専攻						
入 学 金	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	入学時のみ
授 業 料	387,500	387,500	387,500	382,500	372,500	377,500	372,500	372,500	前期分(後期分は前期と同額)
教 育 充 実 費	210,000	210,000	210,000	205,000	205,000	210,000	205,000	205,000	前期分(後期分は前期と同額)
保 健 費	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	年額
栄 養 士 専 攻 費		7,750	14,000						前期分(後期分は前期と同額)
学生教育研究災害傷害保険料	2,650	2,650	2,650	2,650	2,650	2,650	2,650	2,650	入学時のみ
千 鳥 会 費	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	年額
学 友 会 費	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	年額
大妻コタカ記念会費	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	入学時のみ
入学手続時納入金計	885,450	893,200	899,450	875,450	865,450	875,450	865,450	865,450	

(参考)

1 年次後期分	597,500	605,250	611,500	587,500	577,500	587,500	577,500	577,500	例年9月に納入
2年次の 納入金	授業料および 教育充実費	1,215,000	1,215,000	1,215,000	1,195,000	1,175,000	1,195,000	1,175,000	年額
	その他の納入金	15,300	30,800	43,300	15,300	15,300	15,300	15,300	毎年度若干の変動の可能性あり
3年次の 納入金	授業料および 教育充実費	1,235,000	1,235,000	1,235,000	1,215,000	1,195,000	1,215,000	1,195,000	年額
	その他の納入金	15,300	30,800	43,300	15,300	15,300	15,300	15,300	毎年度若干の変動の可能性あり
4年次の 納入金	授業料および 教育充実費	1,255,000	1,255,000	1,255,000	1,235,000	1,215,000	1,235,000	1,215,000	年額
	その他の納入金	15,300	30,800	43,300	15,300	15,300	15,300	15,300	毎年度若干の変動の可能性あり

短期大学部

(単位:円)

区分	短 期 大 学 部				備 考
	家 政 科			国 文 科 英 文 科	
	家政専攻	生活総合 ビジネス専攻	食物栄養専攻		
入 学 金	250,000	250,000	250,000	250,000	入学時のみ
授 業 料	362,500	357,500	362,500	347,500	前期分 (後期分は前期と同額)
教 育 充 実 費	210,000	205,000	210,000	205,000	前期分 (後期分は前期と同額)
保 健 費	2,700	2,700	2,700	2,700	年額
栄 養 士 専 攻 費			14,000		前期分 (後期分は前期と同額)
学生教育研究災害傷害保険料	1,400	1,400	1,400	1,400	入学時のみ
千 鳥 会 費	10,800	10,800	10,800	10,800	年額
学 友 会 費	1,800	1,800	1,800	1,800	年額
大妻コタカ記念会費	20,000	20,000	20,000	20,000	入学時のみ
入学手続時納入金計	859,200	849,200	873,200	839,200	

(注) 表中以外に以下の点にご注意ください。

- ア 実験実習の材料費およびオリエンテーション旅行費等は、実費を納入していただきます。
- イ 諸資格取得を希望する方は、入学後の所定の時期にそれぞれの課程履修費を納入していただきます。
- ウ 大妻コタカ記念会(同窓会)会費は、入学時から10年間の会費です。

(参考)

1 年次後期分	572,500	562,500	586,500	552,500	例年9月に納入	
2年次の 納入金	授業料および 教育充実費	1,165,000	1,145,000	1,165,000	1,125,000	年額
	その他の納入金	15,300	15,300	43,300	15,300	毎年度若干の変動の可能性あり

家政学部食物学科・短期大学部家政科食物栄養専攻を受験する方へ

大妻女子大学家政学部食物学科食物学専攻と管理栄養士専攻および短期大学部家政科食物栄養専攻は、厚生労働省から栄養士養成施設としての指定を受けています。これらの専攻に入学した学生はいずれの専攻においても、所定の科目の単位を修得することにより卒業を要件として、所定の手続きを経て栄養士免許証を取得することができます。

1. 家政学部食物学科

栄養士資格取得科目等

食物学科を卒業するためには、大学で授業を受け、単位を修得することが必要ですが、食物学専攻と管理栄養士専攻には「栄養士法」に基づいて定められた多くの実験・実習科目があります。実習には学内で行うもの、学外の病院、事業所、保健所、会社などの給食施設で行うものがあります。

以下、参考として令和3年度入学生を対象に開講される実験・実習科目名と配当年次・単位数を表記します。

(1) 学内で行う実験・実習科目

〔食物学専攻専門科目〕			〔管理栄養士専攻専門科目〕		
生活環境学実験	1年次	1単位	生活環境実験	1年次	1単位
人体構造機能論実験	1年次	1単位	生化学実験	2年次	1単位
食品化学実験	2年次	1単位	人体構造機能論実験	1年次	1単位
食品学実験	2年次	1単位	栄養代謝実習	2年次	1単位
食安全学実験	2年次	1単位	食品学実験	1年次	1単位
栄養化学実験	2年次	1単位	食品化学実験	2年次	1単位
臨床栄養学実習	3年次	1単位	食安全学実験	2年次	1単位
応用栄養学実習	3年次	1単位	栄養学実験	2年次	1単位
食事設計論実習	2年次	1単位	ライフステージ栄養学実習	3年次	1単位
栄養教育論実習Ⅰ	2年次	1単位	臨床栄養学実習Ⅰ	2年次	1単位
栄養教育論実習Ⅱ	3年次	1単位	臨床栄養学実習Ⅱ	3年次	1単位
給食管理実習Ⅰ	3年次	1単位	栄養教育論実習Ⅰ	2年次	1単位
給食管理実習Ⅱ	3年次	1単位	栄養教育論実習Ⅱ	3年次	1単位
基礎調理学実習	1年次	1単位	公衆栄養学実習	3年次	1単位
調理学実習	1年次	1単位	基礎調理学実習Ⅰ	1年次	1単位
			基礎調理学実習Ⅱ	1年次	1単位
			食事設計論実習	2年次	1単位
			給食経営管理実習Ⅰ	3年次	1単位
			給食経営管理実習Ⅱ	3年次	1単位

★実験・実習科目は45時間の授業をもって1単位となります。

(2) 学外で行う実習

校外実習 3・4年次 1単位（食物学専攻の実習科目）

栄養士課程においては、給食業務を行うために必要な給食サービス提供に関し、栄養士として具備すべき知識および技能を修得することを目的として「給食の運営」について、1週間1単位以上を校外実習（物を対象とした業務）として必須としています。実習施設は、小・中学校、会社・事業所、社会福祉施設、自衛隊などです。

臨地実習Ⅰ 3・4年次 1単位 臨地実習Ⅱ 3・4年次 3単位（管理栄養士専攻の実習科目）

管理栄養士課程においては、実践活動の場での課題発見、解決を通して、栄養評価・判断に基づく適切なマネジメントを行うために必要とされる専門知識および技術の統合を図り、管理栄養士として具備すべき知識および技能を修得するため、臨地実習（人を対象とした業務）4単位以上（校外実習1単位以上を含む）を必須としています。実習施設は、病院、保健所・保健センター、小・中学校、社会福祉施設、会社・事業所、自衛隊などです。

2. 短期大学部家政科食物栄養専攻

食物栄養専攻では、「栄養士法」に基づいて定められた多くの実験・実習科目があります。実習には学内で行うものと、学外の会社・事業所、保育所、病院、老人福祉施設などの給食施設で行うものがあります。学外で行う校外実習（45時間で1単位）は、給食業務を行うために必要な給食サービス提供に関し、栄養士として備えるべき知識及び技能を習得することを目的としており、栄養士免許証取得のために必須です。

人間関係学部人間福祉学科を受験する方へ

大妻女子大学人間関係学部人間福祉学科は、厚生労働省から介護福祉士養成施設としての指定を受けています。この学科に入学した学生は、必要な科目を履修することにより、卒業と同時に介護福祉士国家試験受験資格を取得できます。

卒業するためには、大学で授業を受け単位を修得することが必要ですが、人間福祉学科には「社会福祉士及び介護福祉士法」に基づいて定められた多くの演習・実習科目があります。演習・実習科目には学内で行うもの、学外の社会福祉施設等で行うものがあります。

1. 学内で行う演習

(1) 介護総合演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

実習の教育効果を上げるため、介護実習前の介護技術の確認や施設等のオリエンテーション、実習後の事例報告会または実習期間中に学生が養成施設等において学習する日を計画的に設けるなど、実習に必要な知識や技術、介護過程の展開の能力等について、個別の学習到達状況に応じて総合的に学習する。

(2) 生活支援技術 A-I、A-II、B、C、D、E

尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出したり、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について習得する学習とする。

(3) 介護過程Ⅱ-A、Ⅱ-B、Ⅲ

学習した知識や技術を統合して、介護過程を展開し、介護計画を立案し、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う学習とする。

2. 学外で行う実習

(1) 介護実習入門 特別養護老人ホームで45時間の見学実習を行う。

(2) 介護実習Ⅰ 介護老人保健施設で90時間の実習を行う。

(3) 介護実習Ⅱ 障害児者施設で90時間の実習を行う。

(4) 介護実習Ⅲ 特別養護老人ホームで180時間の実習を行う。

(5) 介護実習Ⅳ 居宅介護サービス事業所等で45時間の実習を行う。

年間を通じて行います。学年暦では夏季・冬季・春季休業にあたる期間および休日・祝祭日であっても学外の施設で実習を行う場合があります。

カリキュラム改正について

令和4年度入学者からのカリキュラムについて、一部改正を検討している学科・専攻があります。

詳細が決まり次第、本学ホームページでお知らせします。

入学予定者への課題・プレイスメントテストについて

入学予定者に、入学までの期間を利用して各学科・専攻からの課題に取り組んでもらうことにしています。

課題の内容については、合格者に交付する「入学手続の手引」で連絡します。(本学ホームページにも掲載します。) 高等学校等で学んだことを復習し、入学後の学習に役立ててください。

また、学部によっては、入学前または入学後に英語のプレイスメントテストを実施します。

災害により被災した入学志願者に対する特別措置について

本学では、大規模自然災害で被災した入学志願者に対して、入学検定料や入学金の免除措置を講じています。各入学試験日から遡り、1年前までの期間に生じた災害で、本学が指定する地域に居住していた方が対象になります。対象となる災害・地域や申請方法、適用条件等は本学ホームページに掲載いたしますので、ご確認ください。

ご不明な点については、広報・入試センター（千代田）までお問い合わせください。

履修地

千代田キャンパス

家政学部、文学部、社会情報学部、比較文化学部、短期大学部

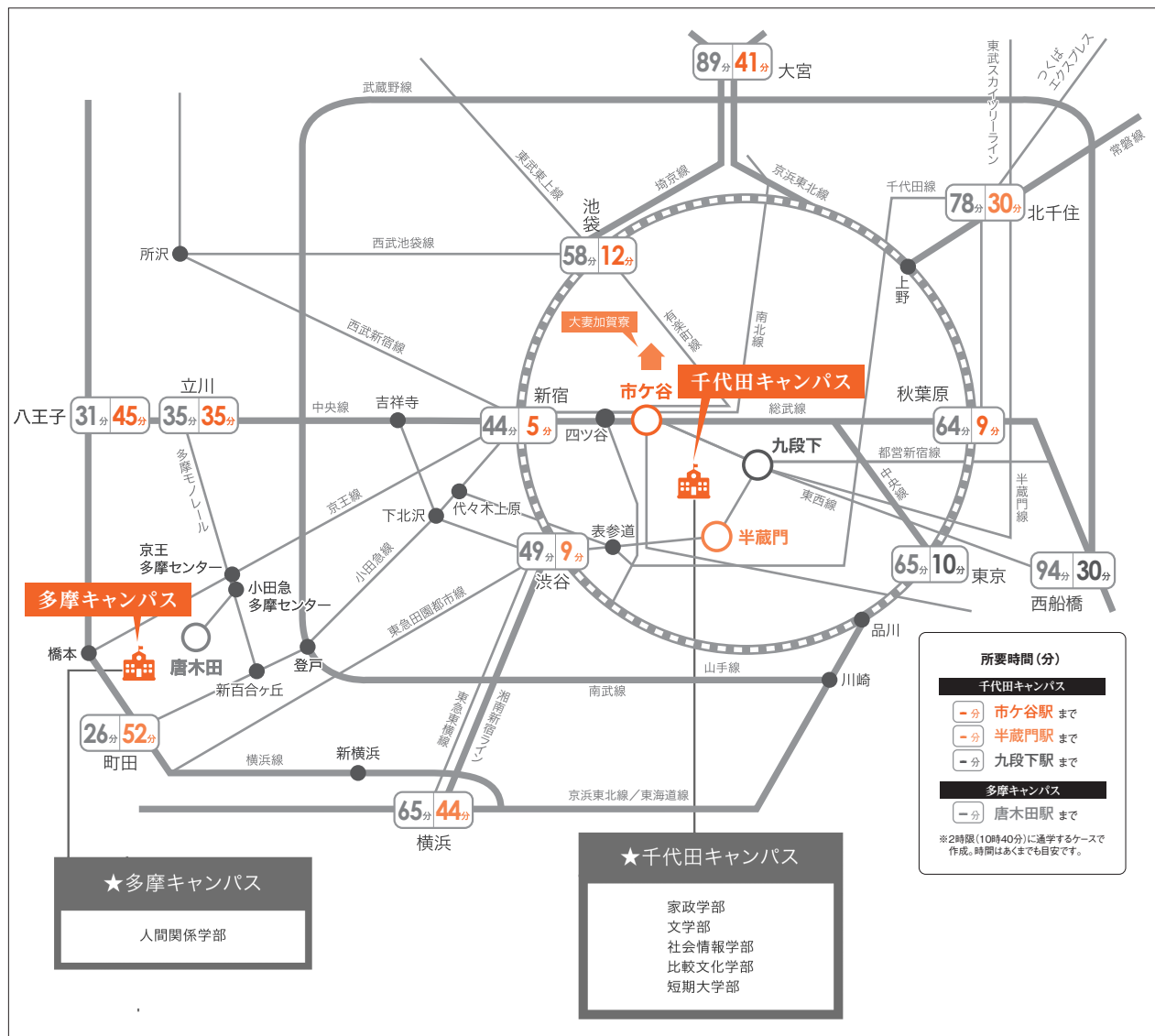
〒102-8357 東京都千代田区三番町12番地

多摩キャンパス

人間関係学部

〒206-8540 東京都多摩市唐木田2丁目7番地1

キャンパス・学生寮配置図



学生寮等

①大妻加賀寮（参考：令和3年度実績）

【所在地・電話番号】東京都新宿区市谷加賀町2-4-31（都営大江戸線牛込柳町駅 徒歩約7分） 電話番号 03-5579-2080

●千代田キャンパスまで徒歩約25分

大妻加賀寮は、親元を離れて学ぶ学生のための、本学専用の学生寮です。

詳細は、入学手続き類に同封される案内冊子でお知らせします。

本学ホームページで、大妻加賀寮の情報を発信していますのでご覧ください。

(https://www.otsuma.ac.jp/campuslife/life_supports/dormitory/)

募集人数	入寮期間 (入学時から)		入寮手続き金 (税込)					入寮手続き金合計 (税込)			入寮後の経費 (税込)			
			入寮費 (2年間)	学寮費 (4月分)			食費 (4月分)	学寮費 (月額)			食費 (月額)			
	大学	短大		個室	個室付 6人用 シェア ルーム	個室付 6人用 ワイド シェア ルーム		個室	個室付 6人用 シェア ルーム	個室付 6人用 ワイド シェア ルーム		個室	個室付 6人用 シェア ルーム	個室付 6人用 ワイド シェア ルーム
未定	2年。 その後 2年の 延長可 ★	2年	120,000円	74,000円	69,000円	71,000円	19,690円	213,690円	208,690円	210,690円	74,000円	69,000円	71,000円	(朝・夕 2食) 約19,000円

★入寮期間は入学時から2年としますが、更新手続きをすることで、更に入寮期間を2年延長することが可能で、最長4年在寮できます。入寮期間の延長には、再度入寮費（120,000円）が必要です。

- 寮室は、個室および個室付6人用シェアルーム、個室付6人用ワイドシェアルームです。
- 寮の管理を業者に委託しています。(24時間常駐)
- 入寮応募について詳しくは、入学手続き類に同封される案内冊子にあります。
- 光熱水費は、学寮費に含まれています。
- 学寮費は翌月分を毎月お支払いいただきます。
- 食費は翌月分を毎月お支払いいただきます。月の日数により食費は変動します。
- 新型コロナウイルス感染症対策のため、見学を中止しております。再開時期については、本学ホームページにて決まり次第ご案内いたします。

②学生寮以外のひとり暮らし用住宅、学生会館を希望する方へ

本学では、学生向けのマンション・アパート・学生会館の紹介業務を、株式会社大妻サポートに委託しています。大妻サポートでは、信頼のおける学生住宅紹介専門会社や学生会館運営会社と提携し、マンション・アパート・学生会館を紹介しています。詳細は入学手続き類に同封される案内冊子をご覧ください。

(注) 株式会社大妻サポートは学校法人大妻学院の教育・研究の発展拡充と大妻生の皆さまの快適な学園生活をサポートするために大妻学院の100%出資により設立された事業会社です。

高等学校等コード表

(1) 高等学校, 中等教育学校, 特別支援学校, 高等専門学校
 (上記以外の出願要件の方は, 43 ページ (2) 参照)

北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長門県	大分県	熊本県	鹿児島県	沖縄県
札幌学院大学 01169C	青森学院大学 01336G	岩手学院大学 01337F	宮城学院大学 01338A	秋田学院大学 01339A	山形学院大学 01340A	福島学院大学 01341A	茨城学院大学 01342A	栃木学院大学 01343A	群馬学院大学 01344A	埼玉学院大学 01345A	千葉学院大学 01346A	東京学院大学 01347A	神奈川学院大学 01348A	新潟学院大学 01349A	富山学院大学 01350A	石川学院大学 01351A	福井学院大学 01352A	山梨学院大学 01353A	長野学院大学 01354A	岐阜学院大学 01355A	静岡学院大学 01356A	愛知学院大学 01357A	三重学院大学 01358A	滋賀学院大学 01359A	京都学院大学 01360A	大阪学院大学 01361A	兵庫学院大学 01362A	奈良学院大学 01363A	和歌山学院大学 01364A	徳島学院大学 01365A	香川学院大学 01366A	愛媛学院大学 01367A	高知学院大学 01368A	福岡学院大学 01369A	佐賀学院大学 01370A	長門学院大学 01371A	大分学院大学 01372A	熊本学院大学 01373A	鹿児島学院大学 01374A	沖縄学院大学 01375A
札幌学院大学 01169C	青森学院大学 01336G	岩手学院大学 01337F	宮城学院大学 01338A	秋田学院大学 01339A	山形学院大学 01340A	福島学院大学 01341A	茨城学院大学 01342A	栃木学院大学 01343A	群馬学院大学 01344A	埼玉学院大学 01345A	千葉学院大学 01346A	東京学院大学 01347A	神奈川学院大学 01348A	新潟学院大学 01349A	富山学院大学 01350A	石川学院大学 01351A	福井学院大学 01352A	山梨学院大学 01353A	長野学院大学 01354A	岐阜学院大学 01355A	静岡学院大学 01356A	愛知学院大学 01357A	三重学院大学 01358A	滋賀学院大学 01359A	京都学院大学 01360A	大阪学院大学 01361A	兵庫学院大学 01362A	奈良学院大学 01363A	和歌山学院大学 01364A	徳島学院大学 01365A	香川学院大学 01366A	愛媛学院大学 01367A	高知学院大学 01368A	福岡学院大学 01369A	佐賀学院大学 01370A	長門学院大学 01371A	大分学院大学 01372A	熊本学院大学 01373A	鹿児島学院大学 01374A	沖縄学院大学 01375A

北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長門県	大分県	熊本県	鹿児島県	沖縄県
札幌学院大学 01169C	青森学院大学 01336G	岩手学院大学 01337F	宮城学院大学 01338A	秋田学院大学 01339A	山形学院大学 01340A	福島学院大学 01341A	茨城学院大学 01342A	栃木学院大学 01343A	群馬学院大学 01344A	埼玉学院大学 01345A	千葉学院大学 01346A	東京学院大学 01347A	神奈川学院大学 01348A	新潟学院大学 01349A	富山学院大学 01350A	石川学院大学 01351A	福井学院大学 01352A	山梨学院大学 01353A	長野学院大学 01354A	岐阜学院大学 01355A	静岡学院大学 01356A	愛知学院大学 01357A	三重学院大学 01358A	滋賀学院大学 01359A	京都学院大学 01360A	大阪学院大学 01361A	兵庫学院大学 01362A	奈良学院大学 01363A	和歌山学院大学 01364A	徳島学院大学 01365A	香川学院大学 01366A	愛媛学院大学 01367A	高知学院大学 01368A	福岡学院大学 01369A	佐賀学院大学 01370A	長門学院大学 01371A	大分学院大学 01372A	熊本学院大学 01373A	鹿児島学院大学 01374A	沖縄学院大学 01375A
札幌学院大学 01169C	青森学院大学 01336G	岩手学院大学 01337F	宮城学院大学 01338A	秋田学院大学 01339A	山形学院大学 01340A	福島学院大学 01341A	茨城学院大学 01342A	栃木学院大学 01343A	群馬学院大学 01344A	埼玉学院大学 01345A	千葉学院大学 01346A	東京学院大学 01347A	神奈川学院大学 01348A	新潟学院大学 01349A	富山学院大学 01350A	石川学院大学 01351A	福井学院大学 01352A	山梨学院大学 01353A	長野学院大学 01354A	岐阜学院大学 01355A	静岡学院大学 01356A	愛知学院大学 01357A	三重学院大学 01358A	滋賀学院大学 01359A	京都学院大学 01360A	大阪学院大学 01361A	兵庫学院大学 01362A	奈良学院大学 01363A	和歌山学院大学 01364A	徳島学院大学 01365A	香川学院大学 01366A	愛媛学院大学 01367A	高知学院大学 01368A	福岡学院大学 01369A	佐賀学院大学 01370A	長門学院大学 01371A	大分学院大学 01372A	熊本学院大学 01373A	鹿児島学院大学 01374A	沖縄学院大学 01375A

学校教育法施行規則第 150 条第 7 号に該当する方の入学資格審査について

こちらの手続が必要な方は、出身学校の高等学校等コード番号が「54000F」の方のみです。

本学では、「高等学校を卒業した者と同等以上の学力がある者」として入学資格認定を必要とする方について、個別の入学資格審査を行います。審査を希望する方は、以下の要領で申請を行ってください。

【入学資格審査の対象者】

学校教育法施行規則第 150 条第 7 号に該当する者で、**本学に入学する意思があり**、令和 4（2022）年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者

【申請手順】

1. 事前相談

申請を希望する方は必ず、該当する各入試方式の**申請期間前**に、できるだけ早くご相談ください。

2. 申請期間・申請方法

事前相談終了後、申請期間内に、申請書類一式を提出してください。

郵送の場合、表面に「**審査申請書類在中**」と朱書きし**簡易書留速達郵便**または**レターパックプラス**で送付してください。

申請期間（郵送必着）	結果通知 送付時期（予定）	入試方式
令和 3(2021)年 6 月 15 日(火)～ 6 月 22 日(火)	7 月下旬	総合型選抜 自己推薦型Ⅰ期・Ⅱ期、情報技術評価型
令和 3(2021)年 9 月 9 日(木)～ 9 月 24 日(金)	10 月下旬	総合型選抜 自己推薦型Ⅱ期

3. 申請書類

申請書類は、原則として **A4 サイズ** に統一してください。

提出書類等は、いかなる事情があっても返却しません。

(1) 入学資格審査申請書（本学所定様式・事前相談後に配付）

(2) 最終出身学校等の教育内容等

学校案内、学則、カリキュラム、卒業に必要な総授業時間数等が**客観的に**確認できる書類

(3) 学習歴の証明書

最終出身学校等の「卒業（見込）証明書および成績証明書」または「調査書」（各教科・科目の学習記録等が含まれているもの）

(4) 社会での実務経験等が客観的に確認できる書類

（各種の学校等での学習歴または社会での実務経験等を有する方のみ）

① 実務経験等の期間および内容を証明する記載が含まれている書類

② 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると客観的に確認できる資格取得証明書等

(5) 令和 4（2022）年 3 月 31 日までに 18 歳に達することを確認できる書類

健康保険証等のコピー（上記(3)、(4)の書類に生年月日の記載がある場合は提出不要）

※上記以外に、本学が審査に必要と判断した書類の提出を求めることがあります。

4. 審査方法・結果通知

提出された申請書類により審査を行い、申請者宛に郵送で結果を通知します。

入学資格を認められた方には、認定書を交付します。

出願時に**認定書の写し**を出願書類と併せて提出してください。

5. その他

学習歴等が「**修得見込み**」で入学資格の認定を受けた方が、認定を受けた年度内に当該学習歴等の修得に至らなかった場合、入学資格の認定は取り消しとなります。

6. 事前相談、申請書類送付先

大妻女子大学・大妻女子大学短期大学部 広報・入試センター入試グループ

〒102-8357 東京都千代田区三番町 12 番地（本館 E 棟 1 階）

tel. 03-5275-0404

E-mail: nyushi@mlotsuma.ac.jp

事前相談・問い合わせ受付時間：[平日] 8:30～16:40 [土曜日] 8:30～13:10

よくあるご質問

- Q1 総合型選抜で合格した場合は、必ず入学しなければいけませんか？
- A1 総合型選抜は、本学が第一志望であることが出願要件の一つです。他大学を受験することは可能ですが、本学総合型選抜で合格した場合は、原則として必ず入学していただきます。
- Q2 総合型選抜では、同時に複数の学科・専攻への出願はできますか？
- A2 同時に複数の学科・専攻への出願はできません。十分に検討し、第一志望の学科・専攻を決めてから出願してください。
- Q3 総合型選抜(自己推薦型) I期と総合型選抜(情報技術評価型)の両方に出願することはできますか？
- A3 総合型選抜(自己推薦型) I期と総合型選抜(情報技術評価型)の両方に出願することはできません。
- Q4 総合型選抜(自己推薦型) I期と学校推薦型選抜(指定校制)で、大妻女子大学を受験したいと思います。両方出願することはできますか？
- A4 出願することはできます。学校推薦型選抜(指定校制)については学内選考との兼ね合いもありますので、出願する前に高校の先生とよく相談してください。学校推薦型選抜(指定校制)を受験するため総合型選抜を辞退する場合は、速やかに本学に連絡してください。
- Q5 総合型選抜の「選考において重視する項目」に私の活動が当てはまらないのですが、全く評価されないのですか？
- A5 特に重視するということですので、項目以外の活動が全く評価されないということではありません。出願書類や面接で、あなたが今まで頑張ってきたことや、その活動によって得たもの、入学後の学習目的や将来の計画などを、しっかりアピールしてください。「選考において重視する項目」について不明な点がありましたら、オープンキャンパスなどで本学の教員に相談してみてください。
- Q6 出願書類に修正液を使用しても良いですか？
- A6 入学願書は、訂正箇所には二重線を引き、訂正印を押印のうえ書き直してください。それ以外については修正液を使用しても構いません。
- Q7 出願書類提出日や面接日が早いかわりで、有利・不利がありますか？
- A7 有利・不利はありませんが、出願書類の作成や、調査書などの必要書類の準備、書類の送付にかかる日数を考えて、早めに準備を進めてください。
- Q8 総合型選抜(自己推薦型)の面接は、学校推薦型選抜の面接とどう違うのですか？
- A8 総合型選抜では、面接を特に重視しています。特に自己推薦型は、より長い時間(自己推薦型は30分程度)をかけて本学の教員2人以上と個人面接を行います。
- Q9 昨年の小論文の問題について教えてください。
- A9 家政学部食物学科食物学専攻の総合型選抜(自己推薦型)と旧AO入試の小論文の問題は、過去3年間分が本学ホームページの「過去問題」に掲載されています。
- Q10 英語や国語の資格・検定試験を取得していることによるメリットはありますか？
- A10 一部の学科・専攻においては各学科・専攻の「選考において重視する項目」(1ページ以降)で指定されている英語や国語の資格・検定試験のスコアを取得している場合、総合判定の一要素とします。さらに、文学部英語英文学科・短期大学部英文科では総合型選抜キャリア計画書の一部(「各学科・専攻からの課題」)への取り組みを免除します。

受験時の宿泊案内

参考として以下の宿泊施設を紹介します。予約をする際は、直接お申し込みください。

〈千代田キャンパス〉

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25

アルカディア市ヶ谷(私学会館) tel. 03-3261-9921(代)

〈多摩キャンパス〉

〒206-0033 東京都多摩市落合1-43

京王プラザホテル多摩 tel. 042-374-0111(代)

キャンパス案内（試験場）

千代田キャンパス 家政学部、文学部、社会情報学部、比較文化学部、短期大学部

① 大学校舎 A 棟～D 棟
② 本館 E 棟（試験場）
 (1 階：広報・入試センター入試グループ)
③ 本館 F 棟（試験場）
 (G 階：広報・入試センター広報・募集グループ)
④ 大学校舎 G 棟
⑤ 大学校舎 H 棟
⑥ 大学校舎別館 (J 棟)
⑦ 大学校舎 K 棟
⑧ 図書館棟・大妻女子大学博物館
⑨ 大妻中学・高等学校校舎
⑩ 大妻コタカ記念会館

【交通案内】
 J R 中央・総武線 市ヶ谷駅下車 徒歩 10 分
 (各駅停車)
 地下鉄 東京メトロ有楽町線 } 市ヶ谷駅下車 (A3 出口) 徒歩 7 分
 東京メトロ南北線 }
 都営新宿線 } 半蔵門駅下車 (5 番出口) 徒歩 5 分
 東京メトロ半蔵門線 }
 東京メトロ東西線 } 九段下駅下車 (2 番出口) 徒歩 12 分
 都営新宿線 }

多摩キャンパス 人間関係学部

試験場の確認
 試験日当日に掲示を
 しますので確認して
 ください。

① 1 号館
② 2 号館 (学生会館)
③ 3 号館
④ 4 号館 (図書館棟)
 (1 階：教育・学事支援センター)
⑤ 5 号館 (体育館棟)
⑥ 6 号館
⑦ 7 号館
⑧ 大妻多摩中学・高等学校校舎

【交通案内】
 小田急多摩線 唐木田駅下車 徒歩 5 分

問い合わせ先

受付時間 千代田：平日 8：30～16：40 土曜日 8：30～13：10
 多摩：平日 8：50～17：00 土曜日 8：50～13：30

内容	部署名	tel.
入試全般	広報・入試センター (千代田) 教育・学事支援センター (多摩)	03-5275-0404 042-372-9970
授業内容等	家政学部 文学部 社会情報学部 比較文化学部 短期大学部	教育支援グループ (千代田)
	人間関係学部	教育・学事支援グループ (多摩)
奨学金、学生寮等	学生支援グループ (千代田)	03-5275-6071
授業料等	財務グループ (千代田)	03-5275-6031

千代田キャンパス 〒102-8357 東京都千代田区三番町 12 番地
 多摩キャンパス 〒206-8540 東京都多摩市唐木田 2 丁目 7 番地 1